

同 臨江縣望江樓

同 臨江

二 指定製材業者製材品販賣價格
 本表價格為紅松板材長四米、厚一・八樞以上、幅一八樞以上二五樞品等普通之該地
 區工場交貨二立方米之價格但需用貨車輸送時得將在最近車站裝載貨車之裝車費之實
 費加算之
 關於樹種、材種、形量、品等之價格依「附表」價格率算定之
 (本表價格ハ紅松板材長四米、厚一・八樞以上、幅一八樞以上二五樞品等並ノ當該
 地區工場渡一立方米當價格トス但シ貨車輸送ヲ要スル場合ハ最寄驛貨車乘迄ノ積出
 料實費ヲ加算スルコトヲ得
 樹種、材種、形量、品等ニ關スル價格ハ「附表」價格率ニヨリ算定スルモノトス)

另表(別表)

製材品價格表

地區 價格

白齊	九七・七〇	齊齊	九七・七〇	海拉	九五・八〇	富拉	九七・八〇	北安	九七・一〇	孫吳	九六・七〇	黑龍	九〇・一五	哈爾	九〇・三〇	綏化	九九・四四	神樹	九九・一〇	綏化	九九・一〇	浩良	九六・五〇	南河	九八・四〇	佳木	九六・八〇	彌榮	九七・〇〇	古城	九八・〇〇	林口	九八・〇〇	牡丹	九八・五〇	東寧	九七・四〇	穆稜	九八・一〇	橫道	九八・〇〇	牙力	九九・〇〇	不道	九八・四〇	西林	九七・四〇
----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------

滴月	九七・七〇	明溝	九八・七〇	龍井	九八・五〇	小春	九八・五〇	石里	九八・三〇	汪清	九八・七〇	大島	九八・五〇	黃泥	九〇・一五	敦石	九〇・一五	吉化	九〇・一五	龍山	九〇・一五	三大	九〇・一五	蛟河	九〇・一五	朝陽	九〇・一五	新鎮	九〇・一五	奉天	九〇・一五	撫順	九〇・一五	鞍山	九〇・一五	蘇家	九〇・一五	營口	九〇・一五	本湖	九〇・一五	遼陽	九〇・一五	阜新	九〇・一五	安東	九〇・一五
----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------

臨江 一〇四・九〇
 望江 一〇三・八〇
 望江 一〇三・九〇
 樓安 一〇三・八〇

「附表」 製材品價格率

一 針葉樹之部
 (1) 樹種別
 紅松 白松 落葉松 歐洲赤松 油松
 一〇〇 九三 九三 九三 九三
 (2) 長級別
 四米 二米 四米未滿 六米以下 八米以下 超過八米者
 一〇〇 一〇〇 一三〇 一六〇 一八〇
 (3) 厚、幅別(厚サ、幅別)
 但未滿四米之成品爲一〇〇(但シ四米未滿ノ出來合品ハ一〇〇トス)
 (甲) 木條或小方子、大方子(挽割、挽角)
 (乙) 板、跳板(板、盤)

材種	厚度範圍	幅	別	價格
(乙) 板、跳板(板、盤)	厚サ範圍	幅	別	一八未滿
				一八以上
				一〇一・一七
				一〇一・一七
				一〇一・一七
				一〇一・一七
				一〇一・一七
				一〇一・一七
				一〇一・一七
				一〇一・一七
				一〇一・一七
				一〇一・一七
(甲) 木條或小方子、大方子(挽割、挽角)	厚サ範圍	幅	別	一八未滿
				一八以上
				一〇一・一七
				一〇一・一七
				一〇一・一七
				一〇一・一七
				一〇一・一七
				一〇一・一七
				一〇一・一七
				一〇一・一七
				一〇一・一七
				一〇一・一七

同 臨江縣望江樓

同 臨江

二 指定製材業者製材品販賣價格
 本表價格為紅松板材長四米、厚一・八樞以上、幅一八樞以上二五樞品等普通之該地
 區工場交貨二立方米之價格但需用貨車輸送時得將在最近車站裝載貨車之裝車費之實
 費加算之
 關於樹種、材種、形量、品等之價格依「附表」價格率算定之
 (本表價格ハ紅松板材長四米、厚一・八樞以上、幅一八樞以上二五樞品等並ノ當該
 地區工場渡一立方米當價格トス但シ貨車輸送ヲ要スル場合ハ最寄驛貨車乘迄ノ積出
 料實費ヲ加算スルコトヲ得
 樹種、材種、形量、品等ニ關スル價格ハ「附表」價格率ニヨリ算定スルモノトス)

另表(別表)

製材品價格表

地 區 價 格

西樺	牙不	橫道	穆河	東丹	牡城	林口	古鎮	彌榮	佳斯	南又	浩河	綏樹	神駿	鐵化	綏濱	哈河	黑吳	孫安	北基	富爾	海拉	齊爾	白哈
安林	力子	力子	力子	力子	力子	力子	力子	力子	力子	力子	力子	力子	力子	力子	力子	力子	力子	力子	力子	力子	力子	力子	力子
九七	九八	九八	九八	九八	九八	九八	九八	九八	九八	九八	九八	九八	九八	九八	九八	九八	九八	九八	九八	九八	九八	九八	九八

安東	阜新	遼新	本湖	營口	蘇屯	鞍山	撫山	奉順	新天	朝鎮	蛟河	三子	大滿	龍山	吉林	敦化	黃河	大頭	間島	汪清	石峴	十里	小春	龍井	圖們	明月	滴道
一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
五七	四四	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二

臨江 通化 一〇四・九〇
 一〇三・八〇
 望江 輯安 一〇三・九〇
 一〇三・八〇

「附表」 製材品價格率

一 針葉樹之部
 (1) 樹種別
 紅松 白松 落葉松 歐洲赤松 油松
 一〇〇 九三 九三 九三 九三
 (2) 長級別
 四米 二米 四米未滿 六米以下 八米以下 超過八米者
 一〇〇 一〇〇 一三〇 一六〇 一八〇
 (3) 厚、幅別(厚サ、幅別)
 但未滿四米之成品爲一〇〇(但シ四米未滿ノ出來合品ハ一〇〇トス)
 (甲) 木條或小方子、大方子(挽割、挽角)
 材種(厚サ範圍) 幅別
 一八未滿 三五未滿 二七 三〇 三三 三六 三九 四二 四五 五未滿 五以上

材種(厚サ範圍)	幅別	一八未滿	三五未滿	二七	三〇	三三	三六	三九	四二	四五	五未滿	五以上
木條子或小方子(挽割、挽角)	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
大方子	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
小方子	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
木條子	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
板、跳板(板、盤)	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
厚サ範圍	幅別	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
一八未滿	一八以下	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
一八以下	一八以下	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
一八以下	一八以下	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
一八以下	一八以下	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
一八以下	一八以下	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇

材種	厚サ範圍	幅別	一八未滿	一八以下	一八以下	一八以下	一八以下	一八以下	一八以下	一八以下	一八以下	一八以下
板	一八以上	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
跳板	一〇以上	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
跳板	一〇以上	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
跳板	一〇以上	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
跳板	一〇以上	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇

樹種	極上	上等	普通(並)	次普通(次並)
紅松	一八〇	一五〇	一〇〇	七五
白松	普通及其上等混合(並以上込)		一〇〇	七五
落葉松	一五〇	一三〇	一〇〇	七五
歐洲赤松	一五〇	一三〇	一〇〇	七五

- 特別價格率
- (1) 被指定為樹心材(即依材木中心直線方向製材者)者得增加依本價格率算定價格之三〇%
(証目材ヲ指定セラルルモノハ本價格率ニヨリ算定セラレタル價格ノ三〇%増トスルコトヲ得)
 - (2) 被指定為斜面材(即不依材木中心直線方向製材者)者得增加依本價格率算定價格之二〇%以內
(斜面挽ヲ指定セラルルモノハ本價格率ニヨリ算定セラレタル價格ノ二〇%以內増スコトヲ得)
 - (3) 大方子被指定其最小斷面之最小邊長為一〇浬以上之極上材、上等材者得增加依本價格率算定價格之一〇%
(挽角ニシテ最小斷面ノ最小邊ノ長一〇浬以上ノ極上、上材ヲ指定セラルルモノハ本價格率ニヨリ算定セラレタル價格ノ一〇%増トスルコトヲ得)
 - (4) 白松特被指定品等時之價格率極上材得增至一五%、上等材得增至一三〇%、普通材得增至一〇〇%
(白松ニシテ特ニ品等ヲ指定セラルル場合ノ價格率ハ極上一五〇%、上一三〇%、上一〇〇%ト爲スコトヲ得)
 - (5) 灰條子一律為紅松基準物價格之六〇%
(木摺ハ一率ニ紅松基準物價格ノ六〇%トス)
 - (6) 一・二纏以下薄板長級四米之價格率一一〇%
(一・二纏以下ノ薄板四米長級價格率ハ一一〇%トス)
 - (7) 板及大板對於特要求同幅者得適用左列價格率
(板及盤ニシテ特ニ幅揃ヲ要求セルモノニ對シテハ左ノ價格率ヲ適用スルコトヲ得)

材種	厚之範圍	幅	別(浬)
板	(厚サ範圍)	以上	以下
		一・八	以下
		一・三	以下
		一・一	以下
		一・〇	以下
		〇・七	以下
		〇・七	以下
		〇・七	以下
		〇・七	以下
		〇・七	以下
		〇・七	以下
		〇・七	以下
大板	(厚サ範圍)	以上	以下
		六・〇	以下
		六・〇	以下
		六・〇	以下
		六・〇	以下
		六・〇	以下
		六・〇	以下
		六・〇	以下
		六・〇	以下
		六・〇	以下
		六・〇	以下
		六・〇	以下

(挽角及挽割ニシテ主ナル出來合品標準寸法以外ノ寸法ヲ指定セラルルモノハ本價格率ニ依リ算定セラレタル價格ノ五%増ト爲スコトヲ得)

(9) 構成料板之價格率(仕組板ノ價格率)

名稱	等級	價格率	構成料(仕組板)	標準尺寸(寸法)(浬)	枚數	用途	
一號箱	特級	一三〇	蓋	〇・九	二六・四	五二・七	石油箱類
			側	〇・九	三六・四	五二・七	
			妻	一・八	二四・五	三六・四	
			板	一・二	三四・五	五四・五	
			側	一・二	三四・五	五四・五	
			蓋	一・二	三四・五	五四・五	
			板	一・二	三四・五	五四・五	
			妻	一・二	三四・五	五四・五	
			板	一・二	三四・五	五四・五	
			側	一・二	三四・五	五四・五	
			蓋	一・二	三四・五	五四・五	
			板	一・二	三四・五	五四・五	
二號箱	特級	一三〇	蓋	〇・九	二六・四	五二・七	汽水箱(サイ)
			側	〇・九	三六・四	五二・七	
			妻	一・八	二四・五	三六・四	
			板	一・二	三四・五	五四・五	
			側	一・二	三四・五	五四・五	
			蓋	一・二	三四・五	五四・五	
			板	一・二	三四・五	五四・五	
			妻	一・二	三四・五	五四・五	
			板	一・二	三四・五	五四・五	
			側	一・二	三四・五	五四・五	
			蓋	一・二	三四・五	五四・五	
			板	一・二	三四・五	五四・五	
三號箱	特級	一三〇	蓋	〇・九	二六・四	五二・七	啤酒箱
			側	〇・九	三六・四	五二・七	
			妻	一・八	二四・五	三六・四	
			板	一・二	三四・五	五四・五	
			側	一・二	三四・五	五四・五	
			蓋	一・二	三四・五	五四・五	
			板	一・二	三四・五	五四・五	
			妻	一・二	三四・五	五四・五	
			板	一・二	三四・五	五四・五	
			側	一・二	三四・五	五四・五	
			蓋	一・二	三四・五	五四・五	
			板	一・二	三四・五	五四・五	
四號箱	特級	一三〇	蓋	〇・九	二六・四	五二・七	各種木條箱類
			側	〇・九	三六・四	五二・七	
			妻	一・八	二四・五	三六・四	
			板	一・二	三四・五	五四・五	
			側	一・二	三四・五	五四・五	
			蓋	一・二	三四・五	五四・五	
			板	一・二	三四・五	五四・五	
			妻	一・二	三四・五	五四・五	
			板	一・二	三四・五	五四・五	
			側	一・二	三四・五	五四・五	
			蓋	一・二	三四・五	五四・五	
			板	一・二	三四・五	五四・五	
五號箱	特級	一三〇	蓋	〇・九	二六・四	五二・七	火柴外箱
			側	〇・九	三六・四	五二・七	
			妻	一・八	二四・五	三六・四	
			板	一・二	三四・五	五四・五	
			側	一・二	三四・五	五四・五	
			蓋	一・二	三四・五	五四・五	
			板	一・二	三四・五	五四・五	
			妻	一・二	三四・五	五四・五	
			板	一・二	三四・五	五四・五	
			側	一・二	三四・五	五四・五	
			蓋	一・二	三四・五	五四・五	
			板	一・二	三四・五	五四・五	

摘要

一 規格

(甲) 樹種得混入紅松、白松、歐洲赤松、落葉松但特級品得指定樹種
(樹種ハ紅松、白松、歐洲赤松、落葉松ヲ混入スルコトヲ得但シ特級品ハ樹種ヲ指定スルコトヲ得)

(乙) 特級為上等材、一級為普通材、二級為次普通材
(特級ハ上材、一級ハ並材、二級ハ次並材)

(丙) 構成料板為不加鉋削之粗鋸製材
(仕組板ハ粗挽材トス)

(丁) 乾燥為自然乾燥程度
(乾燥ハ自然乾燥ノ程度トス)

(戊) 構成尺寸隨其內容品之種類允許有少之差異
(仕組寸法ハ內容品ノ種類ニ依リ多少ノ差異ヲ認ムルモノトス)

樹種	品等	別
紅松	極上	普通(並)
白松	普通及其上等混合(並以上込)	次普通(次並)
落葉松	一五〇	七五
歐洲赤松	一五〇	七五
歐洲赤松	一三〇	七五
歐洲赤松	一三〇	七五

- 特別價格率
- 被指定為樹心材(即依材木中心直線方向製材者)者得增加依本價格率算定價格之三〇%
(柱目材ヲ指定セララルモノハ本價格率ニヨリ算定セラレタル價格ノ三〇%増トスルコトヲ得)
 - 被指定為斜面材(即不依材木中心直線方向製材者)者得增加依本價格率算定價格之二〇%以內
(斜面挽ヲ指定セララルモノハ本價格率ニヨリ算定セラレタル價格ノ二〇%以內増スコトヲ得)
 - 大方子被指定其最小斷面之最小邊長為一〇厘米以上之極上材、上等材者得增加依本價格率算定價格之一〇%
(挽角ニシテ最小斷面ノ最小邊ノ長一〇厘米以上ノ極上、上材ヲ指定セララルモノハ本價格率ニヨリ算定セラレタル價格ノ一〇%増トスルコトヲ得)
 - 白松特被指定品等時之價格率極上材得增至一五%、上等材得增至一三〇%、普通材得增至一〇〇%
(白松ニシテ特ニ品等ヲ指定セララル場合ノ價格率ハ極上一五〇%、上一三〇%、上一〇〇%ト爲スコトヲ得)
 - 灰條子一律為紅松基準物價格之六〇%
(木摺ハ一率ニ紅松基準物價格ノ六〇%トス)
 - 一・二纏以下薄板長級四米之價格率一一〇%
(一・二纏以下ノ薄板四米長級價格率ハ一一〇%トス)
 - 板及大板對於特要求同幅者得適用左列價格率
(板及大板ニシテ特ニ幅揃ヲ要求セルモノニ對シテハ左ノ價格率ヲ適用スルコトヲ得)

材種	厚之範圍	幅	別(纏)
板	(厚サ範圍)	以上	以下
		一・八	以下
		一・三	以下
		一・一	以下
		一・〇	以下
		〇・七	以下
		〇・九	以下
		一・〇	以下
		一・一	以下
		一・二	以下
		一・三	以下
		一・四	以下
大板	(厚サ範圍)	以上	以下
		六・〇	以下
		一・〇	以下
		一・一	以下
		一・二	以下
		一・三	以下
		一・四	以下
		一・五	以下
		一・六	以下
		一・七	以下
		一・八	以下
		一・九	以下

(挽角及挽割ニシテ主ナル出來合品標準寸法以外ノ寸法ヲ指定セララルモノハ本價格率ニ依リ算定セラレタル價格ノ五%増ト爲スコトヲ得)

(9) 構成料板之價格率(仕組板ノ價格率)

名稱	等級	價格率	構成料(仕組板)	標準尺寸(寸法)(纏)	枚數	用途	
一號箱	特級	一三〇	蓋	〇・九	二六・四	五二・七	石油箱類
			側	〇・九	三六・四	五二・七	
			妻	一・八	二四・五	三六・四	
			板	一・二	三四・五	五四・五	
			側	一・二	三四・五	五四・五	
			蓋	一・二	三四・五	五四・五	
			板	一・二	三四・五	五四・五	
			妻	一・二	三四・五	五四・五	
			木	一・二	三四・五	五四・五	
			板	一・二	三四・五	五四・五	
			底	一・二	三四・五	五四・五	
			板	一・二	三四・五	五四・五	
二號箱	特級	一三〇	蓋	〇・九	二六・四	五二・七	汽水箱(サイ)
			側	〇・九	三六・四	五二・七	
			妻	一・八	二四・五	三六・四	
			板	一・二	三四・五	五四・五	
			側	一・二	三四・五	五四・五	
			蓋	一・二	三四・五	五四・五	
			板	一・二	三四・五	五四・五	
			妻	一・二	三四・五	五四・五	
			木	一・二	三四・五	五四・五	
			板	一・二	三四・五	五四・五	
			底	一・二	三四・五	五四・五	
			板	一・二	三四・五	五四・五	
三號箱	特級	一三〇	蓋	〇・九	二六・四	五二・七	棧箱類
			側	〇・九	三六・四	五二・七	
			妻	一・八	二四・五	三六・四	
			板	一・二	三四・五	五四・五	
			側	一・二	三四・五	五四・五	
			蓋	一・二	三四・五	五四・五	
			板	一・二	三四・五	五四・五	
			妻	一・二	三四・五	五四・五	
			木	一・二	三四・五	五四・五	
			板	一・二	三四・五	五四・五	
			底	一・二	三四・五	五四・五	
			板	一・二	三四・五	五四・五	
四號箱	特級	一三〇	蓋	〇・九	二六・四	五二・七	啤酒箱
			側	〇・九	三六・四	五二・七	
			妻	一・八	二四・五	三六・四	
			板	一・二	三四・五	五四・五	
			側	一・二	三四・五	五四・五	
			蓋	一・二	三四・五	五四・五	
			板	一・二	三四・五	五四・五	
			妻	一・二	三四・五	五四・五	
			木	一・二	三四・五	五四・五	
			板	一・二	三四・五	五四・五	
			底	一・二	三四・五	五四・五	
			板	一・二	三四・五	五四・五	
五號箱	特級	一三〇	蓋	〇・九	二六・四	五二・七	各種木條箱類
			側	〇・九	三六・四	五二・七	
			妻	一・八	二四・五	三六・四	
			板	一・二	三四・五	五四・五	
			側	一・二	三四・五	五四・五	
			蓋	一・二	三四・五	五四・五	
			板	一・二	三四・五	五四・五	
			妻	一・二	三四・五	五四・五	
			木	一・二	三四・五	五四・五	
			板	一・二	三四・五	五四・五	
			底	一・二	三四・五	五四・五	
			板	一・二	三四・五	五四・五	

摘要

一 規格

(甲) 樹種得混入紅松、白松、歐洲赤松、落葉松但特級品得指定樹種
(樹種ハ紅松、白松、歐洲赤松、落葉松ヲ混入スルコトヲ得但シ特級品ハ樹種ヲ指定スルコトヲ得)

(乙) 特級為上等材、一級為普通材、二級為次普通材
(特級ハ上材、一級ハ並材、二級ハ次並材)

(丙) 構成料板為不加鉋削之粗鋸製材
(仕組板ハ粗挽材トス)

(丁) 乾燥為自然乾燥程度
(乾燥ハ自然乾燥ノ程度トス)

(戊) 構成尺寸隨其內容品之種類允許有多少之差異
(仕組寸法ハ內容品ノ種類ニ依リ多少ノ差異ヲ認ムルモノトス)

(己) 板幅及接合(板幅及矧合)

除特級品外板幅平均得爲一五種以下之接合
(特級品以外ノモノハ板幅ハ平均一五種以下ノ矧合セト爲スコトヲ得
二 價格以康德十年度紅松基準製材品之販賣價格爲基準而乘以各該價格率算定之
(價格ハ康德十年度製材品紅松基準モノ販賣價格ヲ基準トシ當該價格率ヲ乘シ算定スルモノトス)

興農部佈告第九五號

關於自給農場辦理特例之件
爲佈告事關於自給農場之辦理茲設特例如左
此佈
康德十年八月十四日
興農部大臣 黃 富 俊

自給農場辦理之特例

一 既設農場而基於康德八年三月十七日興農部次長通告興官文第五二號七一一勸獎設置直營特設農場之件以事業主體之自給之目的設立者得認爲自給農場

二 爲既耕地之旱田而得米穀管理法第二條許可將此造成水田者得認爲自給農場

經濟部佈告第二九二號

關於同和型半焦炭瓦斯發生裝置第一號(乘用車用)販賣價格認可之件

爲佈告事依物價及物資統制法第二條第二項之規定呈請同和型半焦炭瓦斯發生裝置第一號(乘用車用)之販賣價格認可之件已對於滿洲自動車製造株式會社以康德十年八月三日認可如左合亟佈告周知此佈
康德十年八月十四日
經濟部大臣 阮 振 鐸

計開

一 實施期日 康德十年八月十四日

二 販賣價格 基準地域
九八五 奉 天 市
一、〇三三 新 京 特 別 市
一、〇三〇 四 平 市

一、〇三七	吉 林 市
一、〇四六	間 島 市
一、〇三三	安 東 市
一、〇三五	通 化 市
一、〇三一	錦 州 市
一、〇四三	承 德 市
一、〇四九	牡 丹 江 市
一、〇五二	佳 木 斯 市
一、〇五五	東 安 市
一、〇四〇	哈 爾 濱 市
一、〇四八	北 安 市
一、〇五五	黑 河 街
一、〇四五	齊 齊 哈 爾 市
一、〇五五	海 拉 爾 市

(備考)
右記價格爲在基準地域之販賣價格其他地域之販賣價格爲在最近基準地域之販賣價格外將至該地域之實際運費加算之

三 適用地域 國內全域

四 販賣條件

(甲) 基準地域之販賣價格爲滿洲自動車製造株式會社本社及支店並營業所之店前或指定販賣店前交貨價格

(乙) 基準地域以外地域之販賣價格爲賣售人之指定地址交貨價格

經濟部佈告第二九三號

關於同和型新瓦斯發生裝置第一號(乘用車用)販賣價格認可之件

爲佈告事依物價及物資統制法第二條第二項之規定呈請同和型新瓦斯發生裝置第一號(乘用車用)之販賣價格認可之件已對於滿

三 各號箱之相類似者則準用各該號箱之各該價格率其依特殊尺寸之構成材料板得依特級品一三〇、一級品一〇五、二級品九〇之價格率但側板長在九一厘米以上者則各級得各增一〇%
(各號箱類似ノモノハ各號箱該當價格率ヲ準用スルモノトシ特殊寸法ニ依ル仕組板ハ特級品一三〇、一級品一〇五、二級品九〇ノ價格率ニ依ルコトヲ得ルモノトス但シ側板長九一厘米以上ノモノハ各級共一〇%増ト爲スコトヲ得)

興農部佈告第九五號

自給農場取扱ノ特例ニ關スル件
自給農場取扱ニ關シテハ左記ノ通特例ヲ設クルニ付茲ニ告示ス
康德十年八月十四日
興農部大臣 黃 富 俊

自給農場取扱ノ特例

一 既設農場ニシテ康德八年三月十七日附興農部次長通告興官文第五二號七一一直營特設農場設置方勸獎ノ件ニ基キ事業主體ノ自給ノ目的ヲ以テ設立セルモノハ自給農場トシテ認ムルコトヲ得ルモノトス

二 既耕地タル旱田ヨリ米穀管理法第二條ノ許可ヲ得テ之ヲ水田ニ造成スル場合ハ自給農場トシテ認ムルコトヲ得ルモノトス

經濟部佈告第二九二號

同和型コライト瓦斯發生裝置第一號(乘用車用)販賣價格認可ニ關スル件

物價及物資統制法第二條第二項ノ規定ニ依リ同和型コライト瓦斯發生裝置第一號(乘用車用)ノ販賣價格認可申請ノ件滿洲自動車製造株式會社ニ對シ康德十年八月三日附ヲ以テ左記ノ通認可セリ
康德十年八月十四日
經濟部大臣 阮 振 鐸

計開

一 實施期日 康德十年八月十四日

二 販賣價格 基準地域
九八五 奉 天 市
一、〇三三 新 京 特 別 市
一、〇三〇 四 平 市

一、〇三七	吉 林 市
一、〇四六	間 島 市
一、〇三三	安 東 市
一、〇三五	通 化 市
一、〇三一	錦 州 市
一、〇四三	承 德 市
一、〇四九	牡 丹 江 市
一、〇五二	佳 木 斯 市
一、〇五五	東 安 市
一、〇四〇	哈 爾 濱 市
一、〇四八	北 安 市
一、〇五五	黑 河 街
一、〇四五	齊 齊 哈 爾 市
一、〇五五	海 拉 爾 市

(備考)
右價格ハ基準地域ニ於ケル販賣價格トシ其ノ他ノ地域ニ於ケル販賣價格ハ最寄基準地域ニ於ケル販賣價格ニ當該地域迄ノ運費實費ヲ加算スルモノトス

三 適用地域 國內全域

四 販賣條件

(イ) 基準地域ニ於ケル販賣價格ハ滿洲自動車製造株式會社本社及支店並營業所店先又ハ指定販賣店前交貨價格トス

(ロ) 基準地域以外ノ地域ニ於ケル販賣價格ハ賣渡人ノ指示スル場所渡價格トス

經濟部佈告第二九三號

同和型新瓦斯發生裝置第一號(乘用車用)販賣價格認可ニ關スル件

物價及物資統制法第二條第二項ノ規定ニ依リ同和型新瓦斯發生裝置第一號(乘用車用)ノ販賣價格認可申請ノ件滿洲自動車製

(己) 板幅及接合(板幅及矧合)

除特級品外板幅平均得爲一五種以下之接合
(特級品以外ノモノハ板幅ハ平均一五種以下ノ矧合セト爲スコトヲ得
二 價格以康德十年度紅松基準製材品之販賣價格爲基準而乘以各該價格率算定之
(價格ハ康德十年度製材品紅松基準モノ販賣價格ヲ基準トシ當該價格率ヲ乘シ算定スルモノトス)

興農部佈告第九五號

關於自給農場辦理特例之件
爲佈告事關於自給農場之辦理茲設特例如左
此佈
康德十年八月十四日
興農部大臣 黃 富 俊

自給農場辦理之特例

- 一 既設農場而基於康德八年三月十七日興農部次長通告興官文第五二號七一一勸獎設置直營特設農場之件以事業主體之自給之目的設立者得認爲自給農場
- 二 爲既耕地之旱田而得米穀管理法第二條許可將此造成水田者得認爲自給農場

爲佈告事依物價及物資統制法第二條第二項之規定呈請同和型半焦炭瓦斯發生裝置第一號(乘用車用)之販賣價格認可之件已對於滿洲自動車製造株式會社以康德十年八月三日認可如左合亟佈告周知此佈
康德十年八月十四日
經濟部大臣 阮 振 鐸

經濟部佈告第二九二號

關於同和型半焦炭瓦斯發生裝置第一號(乘用車用)販賣價格認可之件

爲佈告事依物價及物資統制法第二條第二項之規定呈請同和型半焦炭瓦斯發生裝置第一號(乘用車用)之販賣價格認可之件已對於滿洲自動車製造株式會社以康德十年八月三日認可如左合亟佈告周知此佈
康德十年八月十四日
經濟部大臣 阮 振 鐸

計開

一 實施日期 康德十年八月十四日

二 販賣價格 基準地域
九八五 奉 天 市
一、〇三三 新 京 特 別 市
一、〇三〇 四 平 市

一、〇三七 吉 林 市
一、〇四六 間 島 市
一、〇三三 安 東 市
一、〇三五 通 化 市
一、〇三一 錦 州 市
一、〇四三 承 德 市
一、〇四九 牡 丹 江 市
一、〇五二 佳 木 斯 市
一、〇五五 東 安 市
一、〇四〇 哈 爾 濱 市
一、〇四八 北 安 市
一、〇五五 黑 河 街
一、〇四五 齊 齊 哈 爾 市
一、〇五五 海 拉 爾 市

(備考)
右記價格爲在基準地域之販賣價格其他地域之販賣價格爲在最近基準地域之販賣價格外將至該地域之實際運費加算之

三 適用地域 國內全域

四 販賣條件

(甲) 基準地域之販賣價格爲滿洲自動車製造株式會社本社及支店並營業所之店前或指定販賣店前交貨價格
(乙) 基準地域以外地域之販賣價格爲賣售人之指定地址交貨價格

經濟部佈告第二九三號

關於同和型新瓦斯發生裝置第一號(乘用車用)販賣價格認可之件

爲佈告事依物價及物資統制法第二條第二項之規定呈請同和型新瓦斯發生裝置第一號(乘用車用)之販賣價格認可之件已對於滿洲自動車製造株式會社以康德十年八月三日認可如左合亟佈告周知此佈
康德十年八月十四日
經濟部大臣 阮 振 鐸

三 各號箱之相類似者則準用各該號箱之各該價格率其依特殊尺寸之構成材料板得依特級品一三〇、一級品一〇五、二級品九〇之價格率但側板長在九一種以上者則各級得各增一〇%
(各號箱類似ノモノハ各號箱該當價格率ヲ準用スルモノトシ特殊寸法ニ依ル仕組板ハ特級品一三〇、一級品一〇五、二級品九〇ノ價格率ニ依ルコトヲ得ルモノトス但シ側板長九一種以上ノモノハ各級共一〇%増ト爲スコトヲ得)

興農部佈告第九五號

關於自給農場辦理特例之件
爲佈告事關於自給農場之辦理茲設特例如左
此佈
康德十年八月十四日
興農部大臣 黃 富 俊

自給農場取扱ノ特例ニ關スル件

- 一 既設農場ニシテ康德八年三月十七日附興農部次長通告興官文第五二號七一一直營特設農場設置方勸獎ノ件ニ基キ事業主體ノ自給ノ目的ヲ以テ設立セルモノハ自給農場トシテ認ムルコトヲ得ルモノトス
- 二 既耕地タル旱田ヨリ米穀管理法第二條ノ許可ヲ得テ之ヲ水田ニ造成スル場合ハ自給農場トシテ認ムルコトヲ得ルモノトス

爲佈告事依物價及物資統制法第二條第二項ノ規定ニ依リ同和型コライト瓦斯發生裝置第一號(乘用車用)ノ販賣價格認可申請ノ件滿洲自動車製造株式會社ニ對シ康德十年八月三日附ヲ以テ左記ノ通知可セリ
康德十年八月十四日
經濟部大臣 阮 振 鐸

經濟部佈告第二九二號

關於同和型コライト瓦斯發生裝置第一號(乘用車用)販賣價格認可之件

爲佈告事依物價及物資統制法第二條第二項ノ規定ニ依リ同和型コライト瓦斯發生裝置第一號(乘用車用)ノ販賣價格認可申請ノ件滿洲自動車製造株式會社ニ對シ康德十年八月三日附ヲ以テ左記ノ通知可セリ
康德十年八月十四日
經濟部大臣 阮 振 鐸

計開

一 實施日期 康德十年八月十四日

二 販賣價格 基準地域
九八五 奉 天 市
一、〇三三 新 京 特 別 市
一、〇三〇 四 平 市

一、〇三七 吉 林 市
一、〇四六 間 島 市
一、〇三三 安 東 市
一、〇三五 通 化 市
一、〇三一 錦 州 市
一、〇四三 承 德 市
一、〇四九 牡 丹 江 市
一、〇五二 佳 木 斯 市
一、〇五五 東 安 市
一、〇四〇 哈 爾 濱 市
一、〇四八 北 安 市
一、〇五五 黑 河 街
一、〇四五 齊 齊 哈 爾 市
一、〇五五 海 拉 爾 市

(備考)
右價格ハ基準地域ニ於ケル販賣價格トシ其ノ他ノ地域ニ於ケル販賣價格ハ最寄基準地域ニ於ケル販賣價格ニ當該地域迄ノ運賃實費ヲ加算スルモノトス

三 適用地域 國內全域

四 販賣條件

(イ) 基準地域ニ於ケル販賣價格ハ滿洲自動車製造株式會社本社及支店並營業所店先又ハ指定販賣店前交貨價格トス
(ロ) 基準地域以外ノ地域ニ於ケル販賣價格ハ賣渡人ノ指示スル場所渡價格トス

經濟部佈告第二九三號

關於同和型新瓦斯發生裝置第一號(乘用車用)販賣價格認可之件

爲佈告事依物價及物資統制法第二條第二項ノ規定ニ依リ同和型新瓦斯發生裝置第一號(乘用車用)ノ販賣價格認可申請ノ件滿洲自動車製造株式會社ニ對シ康德十年八月三日附ヲ以テ左記ノ通知可セリ
康德十年八月十四日
經濟部大臣 阮 振 鐸

洲自動車製造株式會社以康德十年八月三日認可如左合函佈告周知此佈
康德十年八月十四日
經濟部大臣 阮振鐸

計開
一 實施日期 康德十年八月十四日
二 販賣價格
販賣價格 基準地域

九二〇	奉天
九七〇	新京特別市
九六七	四平
九七四	吉林
九八三	安東
九七〇	通化
九七二	錦州
九六八	承德
九八〇	承德
九八六	佳木斯
九八九	佳木斯
九九二	東安
九七七	哈爾濱
九八五	北安
九九二	黑河
九九二	齊齊哈爾
九九二	齊齊哈爾
九九二	海拉爾

(備考)
右記價格為在基準地域之販賣價格其他地域之販賣價格為在最近基準地域之販賣價格外將至該地域之實際運費加算之

三 適用地域 國內全域
四 販賣條件
(甲) 基準地域之販賣價格為滿洲自動車製造株式會社本社及支店並營業所之店前或指定販賣店前交貨價格
(乙) 基準地域以外地域之販賣價格為賣售人之指定地址交貨價格

經濟部佈告第二九四號

關於富士機械式薪瓦斯發生裝置第一號(中型乘用車用)販賣價格認可之件
康德十年八月十四日
經濟部大臣 阮振鐸

為佈告事依物價及物資統制法第二條第二項之規定呈請富士機械式薪瓦斯發生裝置第一號(中型乘用車用)之販賣價格認可之件已對於滿洲自動車製造株式會社以康德十年八月三日認可如左合函佈告周知此佈
康德十年八月十四日
經濟部大臣 阮振鐸

計開
一 實施日期 康德十年八月十四日
二 販賣價格
販賣價格 基準地域

八九四	奉天
九三八	新京特別市
九三五	四平
九四一	吉林
九四九	安東
九三七	通化
九三九	錦州
九三六	承德
九四六	承德
九五二	佳木斯
九五五	佳木斯
九五七	東安
九四四	哈爾濱
九五二	北安
九五七	黑河
九五七	齊齊哈爾
九五七	齊齊哈爾
九五七	海拉爾

(備考)
右記價格為在基準地域之販賣價格其他地域之販賣價格為在最近基準地域之販賣價格外將至該地域之實際運費加算之

三 適用地域 國內全域
四 販賣條件
(甲) 基準地域之販賣價格為滿洲自動車製造株式會社本社及支店並營業所之店

經濟部佈告第二九四號

造株式會社ニ對シ康德十年八月三日附ヲ以テ左記ノ通認可セリ
康德十年八月十四日
經濟部大臣 阮振鐸

為佈告事依物價及物資統制法第二條第二項之規定呈請富士機械式薪瓦斯發生裝置第一號(中型乘用車用)之販賣價格認可之件已對於滿洲自動車製造株式會社以康德十年八月三日認可如左合函佈告周知此佈
康德十年八月十四日
經濟部大臣 阮振鐸

計開
一 實施日期 康德十年八月十四日
二 販賣價格
販賣價格 基準地域

九二〇	奉天
九七〇	新京特別市
九六七	四平
九七四	吉林
九八三	安東
九七〇	通化
九七二	錦州
九六八	承德
九八〇	承德
九八六	佳木斯
九八九	佳木斯
九九二	東安
九七七	哈爾濱
九八五	北安
九九二	黑河
九九二	齊齊哈爾
九九二	齊齊哈爾
九九二	海拉爾

(備考)
右價格ハ基準地域ニ於ケル販賣價格トシ其ノ他ノ地域ニ於ケル販賣價格ハ最寄基準地域ニ於ケル販賣價格ニ當該地域迄ノ運賃實費ヲ加算スルモノトス

三 適用地域 國內全域
四 販賣條件
(イ) 基準地域ニ於ケル販賣價格ハ滿洲自動車製造株式會社本社及支店並營業所店先又ハ指定販賣店前交貨價格トス
(ロ) 基準地域以外ノ地域ニ於ケル販賣價格ハ賣渡人ノ指示スル場所所渡價格トス

經濟部佈告第二九四號

富士機械式薪瓦斯發生裝置第一號(中型乘用車用)ノ販賣價格認可ニ關スル件
康德十年八月十四日
經濟部大臣 阮振鐸

為佈告事依物價及物資統制法第二條第二項ノ規定ニ依リ富士機械式薪瓦斯發生裝置一號(中型乘用車用)ノ販賣價格認可申請ノ件滿洲自動車製造株式會社ニ對シ康德十年八月三日附ヲ以テ左記ノ通認可セリ
康德十年八月十四日
經濟部大臣 阮振鐸

計開
一 實施日期 康德十年八月十四日
二 販賣價格
販賣價格 基準地域

八九四	奉天
九三八	新京特別市
九三五	四平
九四一	吉林
九四九	安東
九三七	通化
九三九	錦州
九三六	承德
九四六	承德
九五二	佳木斯
九五五	佳木斯
九五七	東安
九四四	哈爾濱
九五二	北安
九五七	黑河
九五七	齊齊哈爾
九五七	齊齊哈爾
九五七	海拉爾

(備考)
右價格ハ基準地域ニ於ケル販賣價格トシ其ノ他ノ地域ニ於ケル販賣價格ハ最寄基準地域ニ於ケル販賣價格ニ當該地域迄ノ運賃實費ヲ加算スルモノトス

三 適用地域 國內全域
四 販賣條件
(イ) 基準地域ニ於ケル販賣價格ハ滿洲自動車製造株式會社本社及支店並營業

洲自動車製造株式會社以康德十年八月三日認可如左合函佈告周知此佈
康德十年八月十四日
經濟部大臣 阮振鐸

計開
一 實施期日 康德十年八月十四日
二 販賣價格
販賣價格 基準地域

九二〇	奉天
九七〇	新京特別市
九六七	四平
九七四	吉林
九八三	遼寧
九七〇	安東
九七二	通化
九六八	錦州
九八〇	承德
九八六	牡丹江
九八九	佳木斯
九九二	東安
九七七	哈爾濱
九八五	北安
九九二	黑河
九八二	齊齊哈爾
九九二	海拉爾

(備考)
右記價格為在基準地域之販賣價格其他地域之販賣價格為在最近基準地域之販賣價格外將至該地域之實際運費加算之

三 適用地域 國內全域
四 販賣條件

(甲) 基準地域之販賣價格為滿洲自動車製造株式會社本社及支店並營業所之店前或指定販賣店前交貨價格

(乙) 基準地域以外地域之販賣價格為賣售人之指定地址交貨價格

經濟部佈告第二九四號

關於富士機械式薪瓦斯發生裝置第一號(中型乘用車用)販賣價格認可之件

為佈告事依物價及物資統制法第二條第二項之規定呈請富士機械式薪瓦斯發生裝置第一號(中型乘用車用)之販賣價格認可之件已對於滿洲自動車製造株式會社以康德十年八月三日認可如左合函佈告周知此佈
康德十年八月十四日
經濟部大臣 阮振鐸

計開
一 實施期日 康德十年八月十四日
二 販賣價格
販賣價格 基準地域

八九四	奉天
九三八	新京特別市
九三五	四平
九四一	吉林
九四九	遼寧
九三七	安東
九三九	通化
九三六	錦州
九四六	承德
九五二	牡丹江
九五五	佳木斯
九五七	東安
九四四	哈爾濱
九五二	北安
九五七	黑河
九四八	齊齊哈爾
九五七	海拉爾

(備考)
右記價格為在基準地域之販賣價格其他地域之販賣價格為在最近基準地域之販賣價格外將至該地域之實際運費加算之

三 適用地域 國內全域
四 販賣條件

(甲) 基準地域之販賣價格為滿洲自動車製造株式會社本社及支店並營業所之店

經濟部佈告第二九四號

造株式會社ニ對シ康德十年八月三日附ヲ以テ左記ノ通認可セリ
康德十年八月十四日
經濟部大臣 阮振鐸

計開
一 實施期日 康德十年八月十四日
二 販賣價格
販賣價格 基準地域

九二〇	奉天
九七〇	新京特別市
九六七	四平
九七四	吉林
九八三	遼寧
九七〇	安東
九七二	通化
九六八	錦州
九八〇	承德
九八六	牡丹江
九八九	佳木斯
九九二	東安
九七七	哈爾濱
九八五	北安
九九二	黑河
九八二	齊齊哈爾
九九二	海拉爾

(備考)
右價格ハ基準地域ニ於ケル販賣價格トシ其ノ他ノ地域ニ於ケル販賣價格ハ最寄基準地域ニ於ケル販賣價格ニ當該地域迄ノ運賃實費ヲ加算スルモノトス

三 適用地域 國內全域
四 販賣條件

(イ) 基準地域ニ於ケル販賣價格ハ滿洲自動車製造株式會社本社及支店並營業所店先又ハ指定販賣店前交貨價格トス

(ロ) 基準地域以外ノ地域ニ於ケル販賣價格ハ賣渡人ノ指示スル場所所渡價格トス

經濟部佈告第二九四號

富士機械式薪瓦斯發生裝置第一號(中型乘用車用)ノ販賣價格認可ニ關スル件

物價及物資統制法第二條第二項ノ規定ニ依リ富士機械式薪瓦斯發生裝置一號(中型乘用車用)ノ販賣價格認可申請ノ件滿洲自動車製造株式會社ニ對シ康德十年八月三日附ヲ以テ左記ノ通認可セリ
康德十年八月十四日
經濟部大臣 阮振鐸

計開
一 實施期日 康德十年八月十四日
二 販賣價格
販賣價格 基準地域

八九四	奉天
九三八	新京特別市
九三五	四平
九四一	吉林
九四九	遼寧
九三七	安東
九三九	通化
九三六	錦州
九四六	承德
九五二	牡丹江
九五五	佳木斯
九五七	東安
九四四	哈爾濱
九五二	北安
九五七	黑河
九四八	齊齊哈爾
九五七	海拉爾

(備考)
右價格ハ基準地域ニ於ケル販賣價格トシ其ノ他ノ地域ニ於ケル販賣價格ハ最寄基準地域ニ於ケル販賣價格ニ當該地域迄ノ運賃實費ヲ加算スルモノトス

三 適用地域 國內全域
四 販賣條件

(イ) 基準地域ニ於ケル販賣價格ハ滿洲自動車製造株式會社本社及支店並營業

前或指定販賣店前交貨價格
 (乙) 基準地域以外地域之販賣價格為賣
 售人之指定地址交貨價格

經濟部佈告第二九五號

關於富士機械式薪瓦斯發生裝置第一
 號(小型乘用車及同貨車用)販賣價
 格認可之件
 為佈告事依物價及物資統制法第二條第二項
 之規定呈請富士機械式薪瓦斯發生裝置第一
 號(小型乘用車及同貨車用)之販賣價格認
 可之件已對於滿洲自動車製造株式會社以康
 德十年八月三日認可如左合亟佈告周知此佈
 康德十年八月十四日
 經濟部大臣 阮振鐸

計開
 一 實施期日 康德十年八月十四日
 二 販賣價格

基準地域	
奉天市	六六七
新京特別市	六九五
四平街市	六九二
吉林市	六九七
遼寧省	七〇四
安東市	六九四
通化市	六九六
錦州市	六九三
承德市	七〇二
牡丹江市	七〇六
佳木斯市	七〇九
東安市	七一一
哈爾濱市	六九九
北安市	七〇六
黑河街	七一一
齊齊哈爾市	七〇四
海拉爾市	七一一

(備考)

右記價格為在基準地域之販賣價格其他地
 域之販賣價格為在最近基準地域之販賣價
 格外將至該地域之實際運費加算之

三 適用地域 國內全域
 四 販賣條件

(甲) 基準地域之販賣價格為滿洲自動車
 製造株式會社本社及支店並營業所之店
 前或指定販賣店前交貨價格

(乙) 基準地域以外地域之販賣價格為賣
 售人之指定地址交貨價格

經濟部佈告第二九六號

關於富士機械式薪瓦斯發生裝置第一
 號(三輪車用)販賣價格認可之件

為佈告事依物價及物資統制法第二條第二項
 之規定呈請富士機械式薪瓦斯發生裝置第一
 號(三輪車用)之販賣價格認可之件已對於
 滿洲自動車製造株式會社以康德十年八月三
 日認可如左合亟佈告周知此佈
 康德十年八月十四日
 經濟部大臣 阮振鐸

計開
 一 實施期日 康德十年八月十四日
 二 販賣價格

基準地域	
奉天市	六一一
新京特別市	六三五
四平街市	六三三
吉林市	六三八
遼寧省	六四三
安東市	六三三
通化市	六三五
錦州市	六三三
承德市	六三八
牡丹江市	六四三
佳木斯市	六三三
東安市	六三五
哈爾濱市	六三六
北安市	六三四
黑河街	六四一
齊齊哈爾市	六四四
海拉爾市	六四七
黑河街	六四九

所店先又ハ指定販賣店先渡價格トス
 (丙) 基準地域以外ノ地域ニ於ケル販賣
 價格ハ賣渡人ノ指示スル場所渡價格ト
 ス

經濟部佈告第二九五號

富士機械式薪瓦斯發生裝置第一號
 (小型乘用車及同貨車用)ノ販賣價
 格認可ニ關スル件
 物價及物資統制法第二條第二項ノ規定ニ依
 リ富士機械式薪瓦斯發生裝置第一號(小型
 乘用車及同貨車用)ノ販賣價格認可申請ノ
 件滿洲自動車製造株式會社ニ對シ康德十年
 八月三日附ヲ以テ左記ノ通認可セリ
 康德十年八月十四日
 經濟部大臣 阮振鐸

計開
 一 實施期日 康德十年八月十四日
 二 販賣價格

基準地域	
奉天市	六六七
新京特別市	六九五
四平街市	六九二
吉林市	六九七
遼寧省	七〇四
安東市	六九四
通化市	六九六
錦州市	六九三
承德市	七〇二
牡丹江市	七〇六
佳木斯市	七〇九
東安市	七一一
哈爾濱市	六九九
北安市	七〇六
黑河街	七一一
齊齊哈爾市	七〇四
海拉爾市	七一一

(備考)

右價格ハ基準地域ニ於ケル販賣價格トシ
 其ノ他ノ地域ニ於ケル販賣價格ハ最寄基
 準地域ニ於ケル販賣價格ニ當該地域迄ノ

運賃實費ヲ加算スルモノトス
 三 適用地域 國內全域
 四 販賣條件

(甲) 基準地域ニ於ケル販賣價格ハ滿洲
 自動車製造株式會社本社及支店並營業
 所店先又ハ指定販賣店前交貨價格ト
 ス

(乙) 基準地域以外ノ地域ニ於ケル販賣
 價格ハ賣渡人ノ指示スル場所渡價格ト
 ス

經濟部佈告第二九六號

富士機械式薪瓦斯發生裝置第一號
 (三輪車用)ノ販賣價格認可ニ關ス
 ル件

物價及物資統制法第二條第二項ノ規定ニ依
 リ富士機械式薪瓦斯發生裝置第一號(三輪
 車用)ノ販賣價格認可申請ノ件滿洲自動車
 製造株式會社ニ對シ康德十年八月三日附ヲ
 以テ左記ノ通認可セリ
 康德十年八月十四日
 經濟部大臣 阮振鐸

計開
 一 實施期日 康德十年八月十四日
 二 販賣價格

基準地域	
奉天市	六一一
新京特別市	六三五
四平街市	六三三
吉林市	六三八
遼寧省	六四三
安東市	六三三
通化市	六三五
錦州市	六三三
承德市	六三八
牡丹江市	六四三
佳木斯市	六三三
東安市	六三五
哈爾濱市	六三六
北安市	六三四
黑河街	六四一
齊齊哈爾市	六四四
海拉爾市	六四七
黑河街	六四九

前或指定販賣店前交貨價格
 (乙) 基準地域以外地域之販賣價格為賣
 售人之指定地址交貨價格

經濟部佈告第二九五號

關於富士機械式薪瓦斯發生裝置第一
 號(小型乘用車及同貨車用)販賣價
 格認可之件
 為佈告事依物價及物資統制法第二條第二項
 之規定呈請富士機械式薪瓦斯發生裝置第一
 號(小型乘用車及同貨車用)之販賣價格認
 可之件已對於滿洲自動車製造株式會社以康
 德十年八月三日認可如左合亟佈告周知此佈
 康德十年八月十四日
 經濟部大臣 阮振鐸

計開
 一 實施期日 康德十年八月十四日
 二 販賣價格

基準地域	
奉天市	六六七
新京特別市	六九五
四平街市	六九二
吉林市	六九七
遼寧省	七〇四
安東市	六九四
通化市	六九六
錦州市	六九三
承德市	七〇二
牡丹江市	七〇六
佳木斯市	七〇九
東安市	七一一
哈爾濱市	六九九
北安市	七〇六
黑河街	七一一
齊齊哈爾市	七〇四
海拉爾市	七一一

(備考)

右記價格為在基準地域之販賣價格其他地
 域之販賣價格為在最近基準地域之販賣價
 格外將至該地域之實際運費加算之

三 適用地域 國內全域
 四 販賣條件

(甲) 基準地域之販賣價格為滿洲自動車
 製造株式會社本社及支店並營業所之店
 前或指定販賣店前交貨價格

(乙) 基準地域以外地域之販賣價格為賣
 售人之指定地址交貨價格

經濟部佈告第二九六號

關於富士機械式薪瓦斯發生裝置第一
 號(三輪車用)販賣價格認可之件

為佈告事依物價及物資統制法第二條第二項
 之規定呈請富士機械式薪瓦斯發生裝置第一
 號(三輪車用)之販賣價格認可之件已對於
 滿洲自動車製造株式會社以康德十年八月三
 日認可如左合亟佈告周知此佈
 康德十年八月十四日
 經濟部大臣 阮振鐸

計開
 一 實施期日 康德十年八月十四日
 二 販賣價格

基準地域	
奉天市	六一一
新京特別市	六三五
四平街市	六三三
吉林市	六三八
遼寧省	六四三
安東市	六三五
通化市	六三六
錦州市	六三四
承德市	六四一
牡丹江市	六四四
佳木斯市	六四五
東安市	六四七
哈爾濱市	六四九
北安市	六三九
黑河街	六四九

所店先又ハ指定販賣店先渡價格トス
 (丙) 基準地域以外ノ地域ニ於ケル販賣
 價格ハ賣渡人ノ指示スル場所渡價格ト
 ス

經濟部佈告第二九五號

富士機械式薪瓦斯發生裝置第一號
 (小型乘用車及同貨車用)ノ販賣價
 格認可ニ關スル件
 物價及物資統制法第二條第二項ノ規定ニ依
 リ富士機械式薪瓦斯發生裝置第一號(小型
 乘用車及同貨車用)ノ販賣價格認可申請ノ
 件滿洲自動車製造株式會社ニ對シ康德十年
 八月三日附ヲ以テ左記ノ通認可セリ
 康德十年八月十四日
 經濟部大臣 阮振鐸

計開
 一 實施期日 康德十年八月十四日
 二 販賣價格

基準地域	
奉天市	六六七
新京特別市	六九五
四平街市	六九二
吉林市	六九七
遼寧省	七〇四
安東市	六九四
通化市	六九六
錦州市	六九三
承德市	七〇二
牡丹江市	七〇六
佳木斯市	七〇九
東安市	七一一
哈爾濱市	六九九
北安市	七〇六
黑河街	七一一
齊齊哈爾市	七〇四
海拉爾市	七一一

(備考)

右價格ハ基準地域ニ於ケル販賣價格トシ
 其ノ他ノ地域ニ於ケル販賣價格ハ最寄基
 準地域ニ於ケル販賣價格ニ當該地域迄ノ

運賃實費ヲ加算スルモノトス
 三 適用地域 國內全域
 四 販賣條件

(甲) 基準地域ニ於ケル販賣價格ハ滿洲
 自動車製造株式會社本社及支店並營業
 所店先又ハ指定販賣店前交貨價格ト
 ス

(乙) 基準地域以外ノ地域ニ於ケル販賣
 價格ハ賣渡人ノ指示スル場所渡價格ト
 ス

經濟部佈告第二九六號

富士機械式薪瓦斯發生裝置第一號
 (三輪車用)ノ販賣價格認可ニ關ス
 ル件

物價及物資統制法第二條第二項ノ規定ニ依
 リ富士機械式薪瓦斯發生裝置第一號(三輪
 車用)ノ販賣價格認可申請ノ件滿洲自動車
 製造株式會社ニ對シ康德十年八月三日附ヲ
 以テ左記ノ通認可セリ
 康德十年八月十四日
 經濟部大臣 阮振鐸

計開
 一 實施期日 康德十年八月十四日
 二 販賣價格

基準地域	
奉天市	六一一
新京特別市	六三五
四平街市	六三三
吉林市	六三八
遼寧省	六四三
安東市	六三五
通化市	六三六
錦州市	六三四
承德市	六四一
牡丹江市	六四四
佳木斯市	六四五
東安市	六四七
哈爾濱市	六四九
北安市	六三九
黑河街	六四九

齊齊哈爾市
海拉爾市

六四三
六四九
（備考）
右記價格為在基準地域之販賣價格其他地域之販賣價格為在最近基準地域之販賣價格外將至該地域之實際運費加算之

三 適用地域 國內全域
四 販賣條件

（甲）基準地域之販賣價格為滿洲自動車製造株式會社本社及支店並營業所之店前或指定販賣店前交貨價格

（乙）基準地域以外地域之販賣價格為賣售人之指定地址交貨價格

號 數 種 別

四七五—一六	外 輪	製造業者 販賣價格 (每一條)	四〇・五六
六「普萊」	內 帶	五・六四	
五〇〇—一五	外 輪	三四・二三	
四「普萊」	內 帶	五・四八	
三六×七	外 輪	一六三・五〇	
一〇「普萊」	內 帶	一四・九三	

三 販賣條件

（甲）製造業者販賣價格為滿洲自動車製造株式會社奉天倉庫交貨之價格
（乙）批發業者販賣價格及零售業者販賣價格為零售業者店前交貨之價格

經濟部佈告第二九八號

對於非滿洲陶磁器製造業統制組合之組合員而營陶磁器製造業者之命令之件

為佈告事茲依事業統制組合法第九條之規定對於非滿洲陶磁器製造業統制組合之組合員而營陶磁器製造業者其須依左開服從組合之統制此佈

康德十年八月十四日

經濟部大臣 阮 振 鐸

計 開

一 組 合
滿洲陶磁器製造業統制組合

經濟部佈告第二九七號

關於自動車用外輪及內帶販賣價格認可之件

為佈告事依物價及物資統制法第二條第二項之規定呈請自動車用外輪及內帶販賣價格認可之件已對於滿洲自動車製造株式會社以康德十年八月四日認可如左合亟佈告周知此佈

康德十年八月十四日

經濟部大臣 阮 振 鐸

計 開

一 實施期日 康德十年八月十四日
二 販賣價格

批發業者
販賣價格
(每一條)

四五・四四	四七・七〇	全滿
六・三二	六・六〇	同
三八・三五	四〇・三〇	同
六・一三	六・四〇	同
一八三・一八	一九二・三〇	同
一六・七二	一七・六〇	同

零售業者
販賣價格
(每一條)

地域

二 應服從統制之範圍

- (一) 原材料、燃料及資材之取得並分配及配給
 - (二) 生產統制
 - (三) 販賣統制
 - (四) 規格統制
 - (五) 製品統制
 - (六) 價格統制
- 三 應服從統制者之資格
非滿洲陶磁器製造業統制組合之組合員而營陶磁器製造業者但除土器製造業者

齊齊哈爾市
海拉爾市

六四三
六四九
（備考）
右價格ハ基準地域ニ於ケル販賣價格トシ其ノ他ノ地域ニ於ケル販賣價格ハ最寄基準地域ニ於ケル販賣價格ニ當該地域迄ノ運賃實費ヲ加算スルモノトス

三 適用地域 國內全域
四 販賣條件

（イ）基準地域ニ於ケル販賣價格ハ滿洲自動車製造株式會社本社及支店並營業所店先又ハ指定販賣店前交貨價格トス

（ロ）基準地域以外ノ地域ニ於ケル販賣價格ハ賣渡人ノ指示スル場所渡價格トス

サイズ 種 別

四七五—一六	タイヤ	製造業者 販賣價格 (一本ニ付)	四〇・五六
六「ライ」	チユイブ	五・六四	
五〇〇—一五	タイヤ	三四・二三	
四「ライ」	チユイブ	五・四八	
三六×七	タイヤ	一六三・五〇	
一〇「ライ」	チユイブ	一四・九三	

三 販賣條件

（イ）製造業者販賣價格ハ滿洲自動車製造株式會社奉天倉庫渡價格トス
（ロ）卸賣業者販賣價格及小賣業者販賣價格ハ小賣業者店先渡價格トス

經濟部佈告第二九八號

滿洲陶磁器製造業統制組合ノ組合員ニ非ズシテ陶磁器製造業ヲ營ム者ニ對スル命令ノ件

事業統制組合法第九條ノ規定ニ基キ滿洲陶磁器製造業統制組合ノ組合員ニ非ズシテ陶磁器製造業ヲ營ム者ニ對シ左記ニ依リ組合ノ統制ニ從フベキコトヲ命ズ茲ニ佈告ス

康德十年八月十四日

經濟部大臣 阮 振 鐸

計 開

一 組 合
滿洲陶磁器製造業統制組合

經濟部佈告第二九七號

自動車用タイヤ及チユイブノ販賣價格認可ニ關スル件

物價及物資統制法第二條第二項ノ規定ニ依リ自動車用タイヤ及チユイブノ販賣價格認可申請ノ件滿洲自動車製造株式會社ニ對シ康德十年八月四日附ヲ以テ左記ノ通認可セリ

康德十年八月十四日

經濟部大臣 阮 振 鐸

計 開

一 實施期日 康德十年八月十四日
二 販賣價格

卸賣業者
販賣價格
(一本ニ付)

四五・四四	四七・七〇	全滿
六・三二	六・六〇	同
三八・三五	四〇・三〇	同
六・一三	六・四〇	同
一八三・一八	一九二・三〇	同
一六・七二	一七・六〇	同

小賣業者
販賣價格
(一本ニ付)

地域

二 從フベキ統制ノ範圍

- (一) 原材料、燃料及資材ノ取得並ニ割當及配給
 - (二) 生產ノ統制
 - (三) 販賣ノ統制
 - (四) 規格ノ統制
 - (五) 製品ノ検査
 - (六) 價格ノ統制
- 三 統制ニ從フベキ者ノ資格
滿洲陶磁器製造業統制組合ノ組合員ニ非ズシテ陶磁器製造業ヲ營ム者但シ土器製造業者ヲ除ク

齊齊哈爾市
海拉爾市

六四三
六四九
（備考）
右記價格為在基準地域之販賣價格其他地域之販賣價格為在最近基準地域之販賣價格外將至該地域之實際運費加算之

三 適用地域 國內全域
四 販賣條件

（甲）基準地域之販賣價格為滿洲自動車製造株式會社本社及支店並營業所之店前或指定販賣店前交貨價格

（乙）基準地域以外地域之販賣價格為賣售人之指定地址交貨價格

號 數 種 別

四七五—一六	外 輪	製造業者 販賣價格 (每一條)	四〇・五六
六「普萊」	內 帶	五・六四	
五〇〇—一五	外 輪	三四・二三	
四「普萊」	內 帶	五・四八	
三六×七	外 輪	一六三・五〇	
一〇「普萊」	內 帶	一四・九三	

三 販賣條件

（甲）製造業者販賣價格為滿洲自動車製造株式會社奉天倉庫交貨之價格
（乙）批發業者販賣價格及零售業者販賣價格為零售業者店前交貨之價格

經濟部佈告第二九八號

對於非滿洲陶磁器製造業統制組合之組合員而營陶磁器製造業者之命令之件

為佈告事茲依事業統制組合法第九條之規定對於非滿洲陶磁器製造業統制組合之組合員而營陶磁器製造業者其須依左開服從組合之統制此佈

康德十年八月十四日

經濟部大臣 阮 振 鐸

計 開

一 組 合
滿洲陶磁器製造業統制組合

經濟部佈告第二九七號

關於自動車用外輪及內帶販賣價格認可之件
為佈告事依物價及物資統制法第二條第二項之規定呈請自動車用外輪及內帶販賣價格認可之件已對於滿洲自動車製造株式會社以康德十年八月四日認可如左合亟佈告周知此佈

康德十年八月十四日
經濟部大臣 阮 振 鐸

計 開

一 實施期日 康德十年八月十四日
二 販賣價格

批發業者
販賣價格
(每一條)

零售業者
販賣價格
(每一條)

四五・四四	四五・七〇	全滿
六・三二	六・六〇	同
三八・三五	四〇・三〇	同
六・一三	六・四〇	同
一八三・一八	一九二・三〇	同
一六・七二	一七・六〇	同

二 應服從統制之範圍

- (一) 原材料、燃料及資材之取得並分配及配給
 - (二) 生產統制
 - (三) 販賣統制
 - (四) 規格統制
 - (五) 製品統制
 - (六) 價格統制
- 三 應服從統制者之資格
非滿洲陶磁器製造業統制組合之組合員而營陶磁器製造業者但除土器製造業者

齊齊哈爾市
海拉爾市

六四三
六四九
（備考）
右價格ハ基準地域ニ於ケル販賣價格トシ其ノ他ノ地域ニ於ケル販賣價格ハ最寄基準地域ニ於ケル販賣價格ニ當該地域迄ノ運賃實費ヲ加算スルモノトス

三 適用地域 國內全域
四 販賣條件

（イ）基準地域ニ於ケル販賣價格ハ滿洲自動車製造株式會社本社及支店並營業所之店先又ハ指定販賣店前交貨價格トス

（ロ）基準地域以外ノ地域ニ於ケル販賣價格ハ賣渡人ノ指示スル場所渡價格トス

サイズ 種 別

四七五—一六	タイヤ	製造業者 販賣價格 (一本ニ付)	四〇・五六
六「ライ」	チユイブ	五・六四	
五〇〇—一五	タイヤ	三四・二三	
四「ライ」	チユイブ	五・四八	
三六×七	タイヤ	一六三・五〇	
一〇「ライ」	チユイブ	一四・九三	

三 販賣條件

（イ）製造業者販賣價格ハ滿洲自動車製造株式會社奉天倉庫渡價格トス
（ロ）卸賣業者販賣價格及小賣業者販賣價格ハ小賣業者店先渡價格トス

經濟部佈告第二九八號

滿洲陶磁器製造業統制組合ノ組合員ニ非ズシテ陶磁器製造業ヲ營ム者ニ對スル命令ノ件

事業統制組合法第九條ノ規定ニ基キ滿洲陶磁器製造業統制組合ノ組合員ニ非ズシテ陶磁器製造業ヲ營ム者ニ對シ左記ニ依リ組合ノ統制ニ從フベキコトヲ命ズ茲ニ佈告ス

康德十年八月十四日

經濟部大臣 阮 振 鐸

記

一 組 合
滿洲陶磁器製造業統制組合

經濟部佈告第二九七號

自動車用タイヤ及チユイブノ販賣價格認可ニ關スル件
物價及物資統制法第二條第二項ノ規定ニ依リ自動車用タイヤ及チユイブノ販賣價格認可申請ノ件滿洲自動車製造株式會社ニ對シ康德十年八月四日附ヲ以テ左記ノ通認可セリ

康德十年八月十四日
經濟部大臣 阮 振 鐸

記

一 實施期日 康德十年八月十四日
二 販賣價格

卸賣業者
販賣價格
(一本ニ付)

小賣業者
販賣價格
(一本ニ付)

四五・四四	四五・七〇	全滿
六・三二	六・六〇	同
三八・三五	四〇・三〇	同
六・一三	六・四〇	同
一八三・一八	一九二・三〇	同
一六・七二	一七・六〇	同

二 從フベキ統制ノ範圍

- (一) 原材料、燃料及資材ノ取得並ニ割當及配給
 - (二) 生產ノ統制
 - (三) 販賣ノ統制
 - (四) 規格ノ統制
 - (五) 製品ノ檢査
 - (六) 價格ノ統制
- 三 統制ニ從フベキ者ノ資格
滿洲陶磁器製造業統制組合ノ組合員ニ非ズシテ陶磁器製造業ヲ營ム者但シ土器製造業者ヲ除ク

經濟部佈告第二九九號

關於康德十年度生必加工防塞外套販賣價格公定之件

為佈告事茲依物價及物資統制法第二條第一項之規定將康德十年度生必加工防塞外套之販賣價格公定如左此佈

康德十年八月十四日

經濟部大臣 阮振鐸

計開
一 實施期日 康德十年八月十四日
二 販賣價格

品名	規格	單位	批發價格	零售價格
生必防塞外套	甲號	一身	七五・四五	八六・八〇
	乙號	一身	八一・九五	九四・二五
同規格			各號型價格一率	

品名	規格	採取號型	使用質料
生必防塞外套	甲號	自一號	面絨 綿羊毛 混紡衣料
	乙號	至三號	
同			絨料 裝綿四五〇瓦 裝綿九〇〇瓦

三 適用地域

新京特別市

奉天省 奉天市
吉林省 吉林市 (除江北區及龍潭區)

四 平省 四平市
濱江省 哈爾濱市
安東省 安東市 (除浪頭區、安民區、柳林區、中流區、前陽區、石橋區、葦塘區、大東區及新溝區)

龍江省 齊齊哈爾市
北安省 北安市
黑龍省 黑河街
三江省 佳木斯市
東安省 東安市
牡丹江省 牡丹江市
間島省 間島市
通化省 通化市
錦州省 錦州市
熱河省 承德街
興安西省 開魯街
興安南省 王爺廟街
興安東省 扎蘭屯街

經濟部佈告第二九九號

康德十年度生必加工防塞外套ノ販賣價格公定ニ關スル件

物價及物資統制法第二條第一項ノ規定ニ基キ康德十年度生必加工防塞外套ノ販賣價格ヲ左記ノ通公定ス

康德十年八月十四日

經濟部大臣 阮振鐸

計開
一 實施期日 康德十年八月十四日
二 販賣價格

品名	規格	單位	卸賣價格	小賣價格
生必防塞外套	甲號	一著	七五・四五	八六・八〇
	乙號	一著	八一・九五	九四・二五
同規格			各號型均一價格	

品名	規格	採寸號型	使用生地
生必防塞外套	甲號	一號ヨリ	表地 綿羊毛混 紡服地
	乙號	三號迄	
同			絨料 裝綿四五〇瓦 裝綿九〇〇瓦

三 適用地域

新京特別市

奉天省 奉天市
吉林省 吉林市 (江北區及龍潭區ヲ除ク)

四 平省 四平市
濱江省 哈爾濱市
安東省 安東市 (浪頭區、安民區、柳林區、中流區、前陽區、石橋區、葦塘區、大東區及新溝區ヲ除ク)

龍江省 齊齊哈爾市
北安省 北安市
黑龍省 黑河街
三江省 佳木斯市
東安省 東安市
牡丹江省 牡丹江市
間島省 間島市
通化省 通化市
錦州省 錦州市
熱河省 承德街
興安西省 開魯街
興安南省 王爺廟街
興安東省 扎蘭屯街

經濟部佈告第二九九號

康德十年度生必加工防塞外套ノ販賣價格公定ニ關スル件

物價及物資統制法第二條第一項ノ規定ニ基キ康德十年度生必加工防塞外套ノ販賣價格ヲ左記ノ通公定ス

康德十年八月十四日

經濟部大臣 阮振鐸

計開
一 實施期日 康德十年八月十四日
二 販賣價格

品名	規格	採取號型	使用生地
生必防塞外套	甲號	自一號	表地 綿羊毛混 紡服地
	乙號	至三號	
同			絨料 裝綿四五〇瓦 裝綿九〇〇瓦

品名	規格	採取號型	使用生地
生必防塞外套	甲號	自一號	表地 綿羊毛混 紡服地
	乙號	至三號	
同			絨料 裝綿四五〇瓦 裝綿九〇〇瓦

三 適用地域

新京特別市

奉天省 奉天市
吉林省 吉林市 (江北區及龍潭區ヲ除ク)

四 平省 四平市
濱江省 哈爾濱市
安東省 安東市 (浪頭區、安民區、柳林區、中流區、前陽區、石橋區、葦塘區、大東區及新溝區ヲ除ク)

龍江省 齊齊哈爾市
北安省 北安市
黑龍省 黑河街
三江省 佳木斯市
東安省 東安市
牡丹江省 牡丹江市
間島省 間島市
通化省 通化市
錦州省 錦州市
熱河省 承德街
興安西省 開魯街
興安南省 王爺廟街
興安東省 扎蘭屯街

經濟部佈告第二九九號

康德十年度生必加工防塞外套ノ販賣價格公定ニ關スル件

物價及物資統制法第二條第一項ノ規定ニ基キ康德十年度生必加工防塞外套ノ販賣價格ヲ左記ノ通公定ス

康德十年八月十四日

經濟部大臣 阮振鐸

計開
一 實施期日 康德十年八月十四日
二 販賣價格

品名	規格	採取號型	使用生地
生必防塞外套	甲號	自一號	表地 綿羊毛混 紡服地
	乙號	至三號	
同			絨料 裝綿四五〇瓦 裝綿九〇〇瓦

品名	規格	採取號型	使用生地
生必防塞外套	甲號	自一號	表地 綿羊毛混 紡服地
	乙號	至三號	
同			絨料 裝綿四五〇瓦 裝綿九〇〇瓦

三 適用地域

新京特別市

奉天省 奉天市
吉林省 吉林市 (江北區及龍潭區ヲ除ク)

四 平省 四平市
濱江省 哈爾濱市
安東省 安東市 (浪頭區、安民區、柳林區、中流區、前陽區、石橋區、葦塘區、大東區及新溝區ヲ除ク)

龍江省 齊齊哈爾市
北安省 北安市
黑龍省 黑河街
三江省 佳木斯市
東安省 東安市
牡丹江省 牡丹江市
間島省 間島市
通化省 通化市
錦州省 錦州市
熱河省 承德街
興安西省 開魯街
興安南省 王爺廟街
興安東省 扎蘭屯街

經濟部佈告第二九九號

關於康德十年度生必加工防塞外套販賣價格公定之件

為佈告事茲依物價及物資統制法第二條第一項之規定將康德十年度生必加工防塞外套之販賣價格公定如左此佈

康德十年八月十四日

經濟部大臣 阮振鐸

計開

- 一 實施期日 康德十年八月十四日
- 二 販賣價格

批發價格 零售價格

品名	規格	單位	批發價格	零售價格
生必防塞外套	甲號	一身	七五・四五	八六・八〇
	乙號	一身	八一・九五	九四・二五
同規格			各號型價格一率	

使用質料

品名	規格	採取號型
生必防塞外套	甲號	自一號至三號
	乙號	同
同		

三 適用地域

新京特別市

奉天省 奉天市

吉林省 吉林市 (除江北區及龍潭區)

四 平省 四平市

濱江省 哈爾濱市

安東省 安東市 (除浪頭區、安民區、柳林區、中流區、前陽區、石橋區、葦塘區、大東區及新溝區)

龍江省 齊齊哈爾市

北安省 北安市

黑龍省 黑河街

三江省 佳木斯市

東安省 東安市

牡丹江省 牡丹江市

間島省 間島市

通化省 通化市

錦州省 錦州市

熱河省 承德街

興安西省 開魯街

興安南省 王爺廟街

興安東省 扎蘭屯街

興安北省 海拉爾市

四 販賣條件

甲 批發價格係在滿洲生活必需品株式會社支店或配給所所在地之支店或配給所倉庫交貨價格在其他之地域為零售業者所在地最近車站交貨價格

乙 零售價格為零售業者店前交貨價格

地政總局佈告第二六九號

關於不動產登錄事務開辦之件
為佈告事查伴隨不動產登錄法之施行定於左開辦公署開辦不動產登錄事務
再者另由該旗佈告所記載之施行地域兩後即適用不動產登錄法凡買賣贈與其他一切處分行爲非爲登錄則不生效力合行佈告周知此佈
康德十年八月十四日

地政總局長 楊乃時

計開

旗名	開辦日期
錦州省吐默特中旗	康德十年八月二十日

經濟部佈告第二九九號

康德十年度生必加工防塞外套ノ販賣價格公定ニ關スル件

物價及物資統制法第二條第一項ノ規定ニ基キ康德十年度生必加工防塞外套ノ販賣價格ヲ左記ノ通公定ス

康德十年八月十四日

經濟部大臣 阮振鐸

計開

- 一 實施期日 康德十年八月十四日
- 二 販賣價格

批發價格 小賣價格

品名	規格	單位	批發價格	小賣價格
生必防塞外套	甲號	一著	七五・四五	八六・八〇
	乙號	一著	八一・九五	九四・二五
同規格			各號型均一價格	

使用生地

品名	規格	採寸號型
生必防塞外套	甲號	一號ヨリ三號迄
	乙號	同
同		

三 適用地域

新京特別市

奉天省 奉天市

吉林省 吉林市 (江北區及龍潭區ヲ除ク)

四 平省 四平市

濱江省 哈爾濱市

安東省 安東市 (浪頭區、安民區、柳林區、中流區、前陽區、石橋區、葦塘區、大東區及新溝區ヲ除ク)

龍江省 齊齊哈爾市

北安省 北安市

黑龍省 黑河街

三江省 佳木斯市

東安省 東安市

牡丹江省 牡丹江市

間島省 間島市

通化省 通化市

錦州省 錦州市

熱河省 承德街

興安西省 開魯街

興安南省 王爺廟街

興安東省 扎蘭屯街

興安北省 海拉爾市

四 販賣條件

(イ) 卸賣價格トハ滿洲生活必需品株式會社支店又ハ配給所所在地ニ於テハ支店又ハ配給所倉庫渡價格トシ其ノ他ノ地域ニ於テハ小賣業者所在地最近車站價格トス

(ロ) 小賣價格トハ小賣業者店先渡價格トス

地政總局佈告第二六九號

不動產登錄事務開辦ニ關スル件
不動產登錄法ノ施行ニ伴ヒ左記旗公署ニ於テ不動產登錄事務ヲ開辦ス茲ニ佈告ス
追テ當該旗佈告記載ノ施行地域ハ兩後不動產登錄法ノ適用アルヲ以テ買賣贈與其ノ他一切ノ處分行爲ニ付テハ登錄ヲ爲スニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼザルニ付諒知スベシ
康德十年八月十四日

地政總局長 楊乃時

計開

旗名	開辦日期
錦州省吐默特中旗	康德十年八月二十日

敘賜、免任及指敘

任國立種馬場技佐敘賜任三等 中野渡清次郎
 國立種馬場技佐 中野渡清次郎
 兼任馬政局技佐敘賜任三等 康德十年八月五日
 國立大學哈爾濱學院助教 櫻木 新吉
 同 染谷 茂
 任國立大學哈爾濱學院教授敘賜任三等 中澤 直亮
 任師道大學教授敘賜任三等 猪野田 一
 任國立農業大學教授敘賜任二等 國立農業大學助教 森 松次
 任國立農業大學教授敘賜任三等 國立農業大學助教敘賜任三等

國立工業大學助教 木村 三郎
 同 白川 忠次
 任國立工業大學教授敘賜任三等 福永 義廣
 水利電氣建設局事務官 福原 精三
 任公立醫院事務官敘賜任三等
 任師道學校教諭敘賜任二等 矢嶋 正久
 公立國民高等學校教諭 康德十年八月十四日
 任公立女子國民高等學校教諭敘賜任三等 中野渡清次郎
 國立種馬場技佐 派在國立種馬場辦事 康德十年八月五日
 國立大學哈爾濱學院教授 櫻木 新吉
 給十級俸

同 染谷 茂
 給十三級俸 派在新京工業大學辦事
 給十二級俸 師道大學教授 中澤 直亮
 國立農業大學教授 猪野田 一
 給九級俸 派在奉天農業大學辦事
 同 森 松次
 給十一級俸 同
 派在新京畜產獸醫大學辦事
 國立工業大學教授 木村 三郎
 給十二級俸 派在奉天工業大學辦事
 國立工業大學教授 白川 忠次
 給十二級俸

派在新京工業大學辦事 福永 義廣
 公立醫院事務官 福原 精三
 師道學校教諭 派在佳木斯師道學校辦事 給九級俸
 派在佳木斯師道學校辦事 給九級俸
 公立女子國民高等學校教諭 矢嶋 正久
 給十四級俸 派在北安省立克山女子國民高等學校辦事
 康德十年八月十四日
 省事務官兼縣事務官 佐藤 剛
 辭官照准 康德十年八月十四日

彙

報

彙

報

●弘報事項

○雜誌發行許可 依出版法第九條許可如左

名稱 許可年月日 指令號數 發行 人
 印組月報 康德十年七月二十六日 國務院指令 第八三八號 駒 越 五 貞
 ○雜誌廢刊 依出版法第十三條廢刊如左
 名稱 許可年月日 指令號數 廢刊年月日 發行人
 山 棧 子 康德五年四月二十二日 治安部指令(警) 第三一六號 康德十年七月二十四日 藤 卷 快 教

●弘報事項

○雜誌發行許可 出版法第九條ニ依リ左ノ通之ヲ許可セリ
 題號 許可年月日 指令番號 發行 人
 印組月報 康德十年七月二十六日 國務院指令 第八三八號 駒 越 五 貞
 ○雜誌廢刊 出版法第十三條ニ依リ左ノ通廢刊セリ
 題號 許可年月日 指令號數 廢刊年月日 發行人
 山 棧 子 康德五年四月二十二日 治安部指令(警) 第三一六號 康德十年七月二十四日 藤 卷 快 教

◎更正(訂正)

公報月日 網別或公文 頁數 段次 行數 誤 正 備考
 七、三〇 院令第三十八號中 六七五 二末 各。時 不明瞭
 同 同 六七六 三末一六 取消ス。コト 誤植
 同 同 六七八 一 一五 履。書 同
 同 同 同 同 末一三 汽。機。室 同
 同 同 同 同 二 一三 發。生。火。災 不明瞭
 同 同 同 同 同 一三 設。置。者 同

同 同 同 同 一 呈報 呈報於 同
 同 同 同 同 末三 三日 三月 誤植
 同 同 六七九 一 二 依。所。定 依其所定 不明瞭
 同 同 同 同 四 一七 關。ス。ル。件 關スル件 誤植
 同 同 六九二 一 四 廢。止 廢止 同
 同 同 同 同 三 末一二 第。一。項。ノ。規。定 第一項ノ規定 不明瞭
 同 同 六九四 三 末一二 第。一。項。ノ。規。定 第一項ノ規定 不明瞭
 同 同 六九六 一 一 報。告 申報書 同

敘賜、免任及指敘

任國立種馬場技佐敘薦任三等 中野渡清次郎
 任國立種馬場技佐 中野渡清次郎
 兼任馬政局技佐敘薦任三等 康德十年八月五日
 國立大學哈爾濱學院助教 櫻木 新吉
 同 染谷 茂
 任國立大學哈爾濱學院教授敘薦任三等 中澤 直亮
 任師道大學教授敘薦任三等 猪野田 一
 任國立農業大學教授敘薦任二等 國立農業大學助教 森 松次
 任國立農業大學教授敘薦任三等

國立工業大學助教 木村 三郎
 同 白川 忠次
 任國立工業大學教授敘薦任三等 福永 義廣
 任公立醫院事務官敘薦任三等 柳原 精三
 任師道學校教諭敘薦任二等 矢嶋 正久
 公立國民高等學校教諭 康德十年八月十四日
 任公立女子國民高等學校教諭敘薦任三等 中野渡清次郎
 國立種馬場技佐 派在國立種馬場辦事 康德十年八月五日
 國立大學哈爾濱學院教授 櫻木 新吉
 給十級俸

同 染谷 茂
 給十三級俸 派在新京工業大學辦事
 給十二級俸 師道大學教授 中澤 直亮
 國立農業大學教授 猪野田 一
 給九級俸 派在奉天農業大學辦事
 同 森 松次
 給十一級俸 同
 派在新京畜產獸醫大學辦事
 國立工業大學教授 木村 三郎
 給十二級俸 派在奉天工業大學辦事
 國立工業大學教授 白川 忠次
 給十二級俸

派在新京工業大學辦事 公立醫院事務官 福永 義廣
 給九級俸 派在吉林省立醫院辦事
 師道學校教諭 柳原 精三
 給九級俸 派在佳木斯師道學校辦事
 公立女子國民高等學校教諭 矢嶋 正久
 給十四級俸 派在北安省立克山女子國民高等學校辦事
 康德十年八月十四日
 省事務官兼縣事務官 佐藤 剛
 辭官照准 康德十年八月十四日

彙

報

彙

報

●弘報事項

○雜誌發行許可 依出版法第九條許可如左
 名稱 許可年月日 指令號數 發行 人
 印組月報 康德十年七月二十六日 國務院指令 第八三八號 駒 越 五 貞
 ○雜誌廢刊 依出版法第十三條廢刊如左
 名稱 許可年月日 指令號數 廢刊年月日 發行人
 山 棧 子 康德五年四月二十二日 治安部指令(警) 第三一六號 康德十年七月二十四日 藤 卷 快 教

●弘報事項

○雜誌發行許可 出版法第九條ニ依リ左ノ通之ヲ許可セリ
 題 號 許可年月日 指令 番 號 發 行 人
 印組月報 康德十年七月二十六日 國務院指令 第八三八號 駒 越 五 貞
 ○雜誌廢刊 出版法第十三條ニ依リ左ノ通廢刊セリ
 題 號 許可年月日 指令號數 廢刊年月日 發行人
 山 棧 子 康德五年四月二十二日 治安部指令(警) 第三一六號 康德十年七月二十四日 藤 卷 快 教

●更正(訂正)

公報月日	欄別或公文	頁數	段次	行數	誤	正	備考
七、三〇	院令第三十八號中	六七五	二末	各	時	各款之	不明瞭
同	同	六七六	三末	一六	取消ス	コト	誤植
同	同	六七八	一	一五	履書	履書	同
同	同	同	同	末一三	汽機室	汽機室	同
同	同	同	同	二	發生火	發生火災	不明瞭
同	同	同	同	一三	設置者	設置者	同
同	同	同	同	一	呈報	呈報於	同
同	同	同	同	三	三月	三月	誤植
同	同	同	同	一	依其所定	依其所定	不明瞭
同	同	同	同	一七	關スル件	關スル件	誤植
同	同	同	同	四	廢止	廢止	同
同	同	同	同	三末二	第一項ノ規定	第一項ノ規定	不明瞭
同	同	同	同	一	報費	報費	同

水野 武夫	小日向 芳雄	大藏 秋郎	西川 維夫	庄司 光男	西宮 律夫	岡野 節夫	鈴木 進	小野 繁太郎	高橋 三代之雄	中村 忠雄
順永 秀二	中村 寶雄	今里 守康	戸崎 啟光	大河 政雄	春日 勇	松 庵	町田 實雄	森 元超	築地 宏之	小松 正雄
浦瀬 源重	若山 卓	山本 正一	藤 香	河村 政雄	張 純	李 華	李 實	李 元超	趙 文	趙 治
王景明	馬青玉	牟德成	劉 鴻	趙 志	藤 玉	李 士	于 占	李 文	曾 憲	徐 治
唐恩瀾	吳尚仁	劉守堃	孫鴻斌	于 源	葛 林	姜 文	黃 殿	李 文	杜 紹	徐 世
郎崑岩	董季超	祝守堃	趙 鴻	方 志	田 慶	盛 文	于 殿	李 文	上 原	白 川
水澤 寬一	大 六郎	吉村 弘國	金野 房雄	山根 節	寺門 觀享	金 錫	黃 殿	王 文	山 本	白 川
村上 朝也	後藤 政男	寺田 清治	金林 貞雄	井上 二郎	永倉 正文	島崎 清隆	野川 之海	林 俊	平沼 久武	白 川
金 隆煥	吳村 學俊	新井 清三	朴 性達	春川 長松	吉野 稔	島崎 清隆	松原 繁雄	林 俊	利 原	白 川
江越 君平	金江 勝雄	西屋 武	兼田 正安	島本 松男	寺野 稔	島崎 清隆	野川 之海	林 俊	重原 芳子	白 川
張元 榮輔	青川和太郎	松山 學香	橋本 瑞俊	中島 正丸	島崎 清隆	島崎 清隆	野川 之海	林 俊	重原 芳子	白 川
武山 倫龍	菅原 三郎	大槻 一彦	片桐 省吾	稻垣 康好	島崎 清隆	島崎 清隆	野川 之海	林 俊	重原 芳子	白 川
青山 光烈	大谷 逸朗	菅原 三郎	三井 金泉	江原 新太郎	島崎 清隆	島崎 清隆	野川 之海	林 俊	重原 芳子	白 川
安田 敬男	金谷 學用	菅原 三郎	三井 金泉	江原 新太郎	島崎 清隆	島崎 清隆	野川 之海	林 俊	重原 芳子	白 川
干城 一彦	豐川 柱治	菅原 三郎	三井 金泉	江原 新太郎	島崎 清隆	島崎 清隆	野川 之海	林 俊	重原 芳子	白 川
郎 洪發	范景福	菅原 三郎	三井 金泉	江原 新太郎	島崎 清隆	島崎 清隆	野川 之海	林 俊	重原 芳子	白 川
韓宗謹	馬世英	菅原 三郎	三井 金泉	江原 新太郎	島崎 清隆	島崎 清隆	野川 之海	林 俊	重原 芳子	白 川
馬生田	顏同昌	菅原 三郎	三井 金泉	江原 新太郎	島崎 清隆	島崎 清隆	野川 之海	林 俊	重原 芳子	白 川
周明德	徐自先	菅原 三郎	三井 金泉	江原 新太郎	島崎 清隆	島崎 清隆	野川 之海	林 俊	重原 芳子	白 川
渡邊 孝人	渡邊 益男	菅原 三郎	三井 金泉	江原 新太郎	島崎 清隆	島崎 清隆	野川 之海	林 俊	重原 芳子	白 川
大塚 操	大内よし	菅原 三郎	三井 金泉	江原 新太郎	島崎 清隆	島崎 清隆	野川 之海	林 俊	重原 芳子	白 川
藤田 武	矢野倉 清	菅原 三郎	三井 金泉	江原 新太郎	島崎 清隆	島崎 清隆	野川 之海	林 俊	重原 芳子	白 川
井手野 博	島田 忠雄	菅原 三郎	三井 金泉	江原 新太郎	島崎 清隆	島崎 清隆	野川 之海	林 俊	重原 芳子	白 川
孫 志	劉志生	菅原 三郎	三井 金泉	江原 新太郎	島崎 清隆	島崎 清隆	野川 之海	林 俊	重原 芳子	白 川
趙石源	趙德玉	菅原 三郎	三井 金泉	江原 新太郎	島崎 清隆	島崎 清隆	野川 之海	林 俊	重原 芳子	白 川
金家治	平尾 愛義	菅原 三郎	三井 金泉	江原 新太郎	島崎 清隆	島崎 清隆	野川 之海	林 俊	重原 芳子	白 川
真田 重雄	中尾駒之助	菅原 三郎	三井 金泉	江原 新太郎	島崎 清隆	島崎 清隆	野川 之海	林 俊	重原 芳子	白 川
澤田 重雄	立石 義雄	菅原 三郎	三井 金泉	江原 新太郎	島崎 清隆	島崎 清隆	野川 之海	林 俊	重原 芳子	白 川
王孟華	李正倫	菅原 三郎	三井 金泉	江原 新太郎	島崎 清隆	島崎 清隆	野川 之海	林 俊	重原 芳子	白 川
李廷豐	楊而三	菅原 三郎	三井 金泉	江原 新太郎	島崎 清隆	島崎 清隆	野川 之海	林 俊	重原 芳子	白 川
劉漢民	梁俊文	菅原 三郎	三井 金泉	江原 新太郎	島崎 清隆	島崎 清隆	野川 之海	林 俊	重原 芳子	白 川
黃以強	楊樹元	菅原 三郎	三井 金泉	江原 新太郎	島崎 清隆	島崎 清隆	野川 之海	林 俊	重原 芳子	白 川
林鳳池	楊玉芳	菅原 三郎	三井 金泉	江原 新太郎	島崎 清隆	島崎 清隆	野川 之海	林 俊	重原 芳子	白 川
劉和春	萬世英	菅原 三郎	三井 金泉	江原 新太郎	島崎 清隆	島崎 清隆	野川 之海	林 俊	重原 芳子	白 川
劉和春	萬世英	菅原 三郎	三井 金泉	江原 新太郎	島崎 清隆	島崎 清隆	野川 之海	林 俊	重原 芳子	白 川
後藤 文雄	森 節夫	菅原 三郎	三井 金泉	江原 新太郎	島崎 清隆	島崎 清隆	野川 之海	林 俊	重原 芳子	白 川
秋山 文夫	大村 幸市	菅原 三郎	三井 金泉	江原 新太郎	島崎 清隆	島崎 清隆	野川 之海	林 俊	重原 芳子	白 川
蔣恩泉	郭世次	菅原 三郎	三井 金泉	江原 新太郎	島崎 清隆	島崎 清隆	野川 之海	林 俊	重原 芳子	白 川
張玉麒	田佳敏	菅原 三郎	三井 金泉	江原 新太郎	島崎 清隆	島崎 清隆	野川 之海	林 俊	重原 芳子	白 川
卓崇恩	李立田	菅原 三郎	三井 金泉	江原 新太郎	島崎 清隆	島崎 清隆	野川 之海	林 俊	重原 芳子	白 川
王克強	楊慶餘	菅原 三郎	三井 金泉	江原 新太郎	島崎 清隆	島崎 清隆	野川 之海	林 俊	重原 芳子	白 川
王復泰	陳樹國	菅原 三郎	三井 金泉	江原 新太郎	島崎 清隆	島崎 清隆	野川 之海	林 俊	重原 芳子	白 川
袁執英	田基昌	菅原 三郎	三井 金泉	江原 新太郎	島崎 清隆	島崎 清隆	野川 之海	林 俊	重原 芳子	白 川

金川 政清	東上床正紀	中川 眞規二郎	中村 元善	金村 徳成	石平 利松	陽山 伸雄	平山 高司	林 東根	砥綿 知明	花田 康
高橋 正司	大野 正夫	松田 盛雄	城間 盛水	河東 治益	藤井 一	朝香 寛俊	追立 善夫	小里 純逸	深澤 鐵造	伊藤 正二
荒木 久雄	長谷川 薫	小山 博	小倉 盛保	井島 隆愛	村田 定夫	永松 國彦	渡部 秀雄	中村 久作	馬場 勉	山本 泰雄
小見 武雄	徳山 勝藏	峰田 眞	清水 國雄	李家 福淵	山本 雲善	康 隆	三井 峻基	白川 義弘	丹山 東吳	吉田 憲弘
平沼 炳龍	岡城 民守	大山 隆平	金井 嘉男	長原 普仁	水谷 健一	木村 又一	寺島 六三	小野 哲夫	栗原 芳雄	大前 幸正
石森 孝治	清田 哲作	柳原 春吉	安藤 一	新井 道淳	北村 九郎久	白石 榮一	木原 鐘慢	池松 誠	今野 章助	近藤 徳二
吉村 淳司	金子規矩男	朴利 逢	高呂 守	富松 英二	金光 慶昌	高原 雄一	橋府 政一	李文 魁	張 廉貴	劉 需基
孫 相生	喬文 慶	陳 孟先	蔡 富榮	何 景新	蔡 吉昌	趙 雲起	張 連魁	師 連凱	姜 長煜	王 忠惠
李 影如	曲 峻田	于 謙	張 永慶	趙 恩多	李 光人	趙 錫慶	徐 恩榮	杜 榮貴	石 祥瑛	邵 信福
王 顯詩	王安 之	楊 德餘	周 志謙	王 保泰	紀 承階	王 興義	郭 振洛	孫 維坤	王 孝身	林 增和
時 雲峰	高 緒祿	黃 應先	張 春華	劉 寶聖	張 中田	姜 錫厚	姜 景祿	柳 振江	王 吉瑞	劉 賢斌
王 有龍	馬 懷玉	畢 民庶	甄 繼先	趙 國譽	張 伯存	孫 鴻鈞	趙 成環	衣 文陣	王 孟春	吳 志超
王文 良	王 甲仁	李 述俊	左 金貴	金 廣賢	閔 希晉	由 鴻家	李 乃棟	呂 福業	白 文龍	胡 連文
楊 景五	寇 奕萬	張 麗藻	鄒 國華	蔣 震	張 起昇	孫 殿元	韓 高明			

工場財團

據新京特別市興安大路七〇四號滿洲豆稈バルブ株式會社對於開原縣開原街小李家臺屯第七壹、壹五七、壹五八、壹五九號及許家臺屯第八貳九、八五貳、八五七、八五八、八六壹號地所在滿洲豆稈バルブ株式會社開原工場之工作物並機械器具等爲組成工場財團請所有權保存登錄前來對於該財團之動產有權利者或扣押、假扣押

或假處分之債權者應自本公告揭載之日起三十二日以内將其權利呈報於本公署該工場財團目錄備置於本公署以供關係者之閱覽
康德十年八月十四日
開原縣公署

工場財團

新京特別市興安大路七〇四號滿洲豆稈バルブ株式會社ヨリ開原縣開原街小李家臺屯第七壹、壹五七、壹五八、壹五九號及許家臺屯第八貳九、八五貳、八五七、八五八、八六壹號地所在滿洲豆稈バルブ株式會社開原工場ニ屬スル工作物並ニ機械器具ニ對シ工場財團組成ノ爲所有權保存ノ登錄申請アリタルニ因リ右財團ニ屬スベキ動

產ニ付權利ヲ有スル者又ハ差押、假差押若クハ假處分ノ債權者ハ本公告揭載ノ日ヨリ三十二日ノ期間内ニ其權利ヲ當公署ニ申出ツベシ但シ工場財團ニ屬スベキモノノ目錄ハ當公署ニ備附アリ關係者ノ閱覽ニ供ス
康德十年八月十四日
開原縣公署

滿洲帝國委任官(行政官、司法官、技術官及教官)採用銓衡

茲依文官令、文官考試規程及康德五年院令第三十一號關於依文官令之指定認定之件施行滿洲帝國委任官(行政官、司法官、技術官及教官)採用銓衡合函公告如左
康德十年八月十二日

總務廳委任文官考試委員會委員長 源田松三

滿洲帝國委任官(行政官、司法官、技術官及教官)採用銓衡

滿洲帝國委任官(行政官、司法官、技術官及教官)採用銓衡ヲ文官令、文官考試規程及康德五年院令第三十一號文官令ニ依ル指定認定等ニ關スル件ニ依リ施行スルニ付左ノ通告ス
康德十年八月十二日

總務廳委任文官考試委員會委員長 源田松三

金川 政清	東上床正紀	中川 眞規二郎	中村 元善	金村 徳成	石平 利松	陽山 伸雄	平山 高司	林 東根	砥綿 知明	花田 康
高橋 正司	大野 正夫	松田 盛雄	城間 盛水	河東 治益	藤井 一	朝香 寛俊	追立 善夫	小里 純逸	深澤 鐵造	伊藤 正二
荒木 久雄	長谷川 薫	小山 博	小倉 盛保	井島 隆愛	村田 定夫	永松 國彦	渡部 秀雄	中村 久作	馬場 勉	山本 泰雄
小見 武雄	徳山 勝藏	峰田 眞	清水 國雄	李家 福淵	山本 雲善	康 隆	三井 峻基	白川 義弘	丹山 東吳	吉田 憲弘
平沼 炳龍	岡城 民守	大山 隆平	金井 嘉男	長原 普仁	水谷 健一	木村 又一	寺島 六三	小野 哲夫	栗原 芳雄	大前 幸正
石森 孝治	清田 哲作	柳原 春吉	安藤 一	新井 道淳	北村 九郎久	白石 榮一	木原 鐘慢	池松 誠	今野 章助	近藤 徳二
吉村 淳司	金子規矩男	朴利 逢	高呂 守	富松 英二	金光 慶昌	高原 雄一	橋府 政一	李文 魁	張 廉 貴	劉 需 基
孫 相生	喬文 慶	陳 孟 先	蔡 富 榮	何 景 新	蔡 吉 昌	趙 雲 起	張 連 魁	師 連 凱	姜 長 煜	王 忠 惠
李 影 如	曲 峻 田	于 謙	張 永 慶	趙 恩 多	李 光 人	趙 錫 慶	徐 恩 榮	杜 榮 貴	石 祥 瑛	邵 信 福
王 鐵 詩	王 安 之	楊 德 餘	周 志 謙	王 保 泰	紀 承 階	王 興 義	郭 振 洛	孫 維 坤	王 孝 身	林 增 和
時 雲 峰	高 緒 祿	黃 應 先	張 春 華	劉 寶 聖	張 中 田	姜 錫 厚	姜 景 祿	柳 振 江	王 吉 瑞	劉 賢 斌
王 有 龍	馬 懷 玉	畢 民 庶	甄 繼 先	趙 國 譽	張 伯 存	孫 鴻 鈞	趙 成 環	衣 文 陣	王 孟 春	吳 志 超
王文良	王甲仁	李述俊	左金貴	金廣賢	閔希晉	由鴻家	李乃棟	呂福業	白文龍	胡連文
楊景五	寇 奕 萬	張 麗 藻	鄒 國 華	蔣 震	張 起 昇	孫 殿 元	韓 高 明			

工場財團

據新京特別市興安大路七〇四號滿洲豆稈バルブ株式會社對於開原縣開原街小李家臺屯第七壹、壹五七、壹五八、壹五九號及許家臺屯第八貳九、八五貳、八五七、八五八、八六壹號地所在滿洲豆稈バルブ株式會社開原工場之工作物並機械器具等爲組成工場財團證請所有權保存登錄前來對於該財團之動產有權利者或扣押、假扣押

或假處分之債權者應自本公告揭載之日起三十二日以内將其權利呈報於本公署該工場財團目錄備置於本公署以供關係者之閱覽
康德十年八月十四日
開原縣公署

工場財團

新京特別市興安大路七〇四號滿洲豆稈バルブ株式會社ヨリ開原縣開原街小李家臺屯第七壹、壹五七、壹五八、壹五九號及許家臺屯第八貳九、八五貳、八五七、八五八、八六壹號地所在滿洲豆稈バルブ株式會社開原工場ニ屬スル工作物並ニ機械器具ニ對シ工場財團組成ノ爲所有權保存ノ登錄申請アリタルニ因リ右財團ニ屬スベキ動

產ニ付權利ヲ有スル者又ハ差押、假差押若クハ假處分ノ債權者ハ本公告揭載ノ日ヨリ三十二日ノ期間内ニ其權利ヲ當公署ニ申出ツベシ但シ工場財團ニ屬スベキモノノ目錄ハ當公署ニ備附アリ關係者ノ閱覽ニ供ス
康德十年八月十四日
開原縣公署

滿洲帝國委任官(行政官、司法官、技術官及教官)採用銓衡

茲依文官令、文官考試規程及康德五年院令第三十一號關於依文官令之指定認定之件施行滿洲帝國委任官(行政官、司法官、技術官及教官)採用銓衡合函公告如左
康德十年八月十二日

滿洲帝國委任官(行政官、司法官、技術官及教官)採用銓衡

滿洲帝國委任官(行政官、司法官、技術官及教官)採用銓衡ヲ文官令、文官考試規程及康德五年院令第三十一號文官令ニ依ル指定認定等ニ關スル件ニ依リ施行スルニ付左ノ通告告ス
康德十年八月十二日

總務廳委任文官考試委員會委員長 源田松三

總務廳委任文官考試委員會委員長 源田松三

一 應募資格

(一) 大學畢業者或於該學校最後學年在學而有畢業希望者

(二) 建國大學前期修了者或於該期最後學年在學而有修了希望者

(三) 奉天商科學院、北滿學院、王道書院、盛京醫科大學畢業者或於該學校最後學年在學而有畢業之希望者

(四) 日本之高等學校或依專門學校令或實業學校令之專門學校以上之學校畢業者或於該學校最後學年在學而有畢業之希望者

(五) 日本之高等試驗之本試驗或預備試驗及格者

(六) 在日本被檢定爲具有高等學校或依專門學校令或實業學校令之專門學校畢業者同等以上之學力者

適合於右列各款之一者

1 行政官及司法官

康德十年(昭和十八年)十二月末日現在未滿三十歲者

2 技術官

修得左列科目之一者

農業、農藝土木、林業、農藝化學、園藝、水產、畜產、獸醫、物理、醫學、藥學、紡織、地質、機械、電氣、應用化學、探礦、冶金、土木、建築

3 教官

修得左列科目者

國民道德、教育、地歴、數學、理科、國語、體育、商學、商業、日語、英語、蒙古語、家事裁縫、音樂

二 鑒衡方法

爲人物識見考查(口述)及身體檢查但身體檢查得以應募書類中之健康診斷書代之

三 施行期間、施行地及施行處所

(一) 自康德十年九月上旬至同九月中旬

(二) 施行地 新京、奉天、哈爾濱

(三) 施行日時及施行處所另向各應募者通知之

四 報名期限及應募手續

左列文件須於八月二十日前向新京國務院國務

應入事處練成科轉交總務廳委任文官考試委員會委員長提出之但國內大學畢業者須經由出身學校提出之

於國內大學本年度有畢業希望者以文教部提出之文件代用之無庸提出

(一) 應募願書(行政官及司法官爲第一號書式、技術官及教官爲第二號書式)

(二) 履歷書(第三號書式、本人親筆者)

(三) 家族調書(第四號書式)

(四) 健康診斷書(第五號書式、官公立醫院、滿鐵醫院或赤十字病院所證明者)

(五) 照片一張(報名前一年以內所攝之上半身、脫帽、正面之四寸型照片於背面自攝攝影年月日、姓名及生年月日)

(六) 民籍謄本(滿、蒙及俄)或戶籍謄本(日、鮮及臺)

(七) 最終學校之人物考查書(第六號書式、但對於適合應募資格第五款或第六款者可用足以證明有應募資格之文件以代替人物考查書)

(八) 最終學校學業成績表

(九) 所屬長之應募許可證(現職者ノミ)及格者發表

及合格者姓名以康德十年十月上旬滿洲國政府公報公告之並向及格者授與及格證書

六 其他

(一) 照片須於背面上部以漿糊黏貼於貼照片欄內

(二) 應募願書及其添附文件須按第四項記載之順序整理齊備折二疊以紙捻訂綴裝入信封之後於表面寫明「內寄委任官採用鑒衡應募願書」務須親身或以郵信提出於所定之處所

(三) 本籍、現住所、受通知地址或姓名如有變更時應立即呈報關於其他事項之變更除有特別事由外概不承認

一 應募資格

(一) 大學卒業シタル者又ハ當該學校ノ最終學年ニ在學シ卒業ノ見込アル者

(二) 建國大學ノ前期ヲ修了シタル者又ハ當該期ノ最終學年ニ在學シ修了ノ見込アル者

(三) 奉天商科學院、北滿學院、王道書院、盛京醫科大學卒業シタル者又ハ當該學校ノ最終學年ニ在學シ卒業ノ見込アル者

(四) 日本ノ高等學校又ハ專門學校令若ハ實業學校令ニ依ル專門學校以上ノ學校卒業シタル者又ハ當該學校ノ最終學年ニ在學シ卒業ノ見込アル者

(五) 日本ノ高等試驗ノ本試驗又ハ豫備試驗ニ及格シタル者

(六) 日本ニ於テ高等學校又ハ專門學校令若ハ實業學校令ニ依ル專門學校卒業シタル者ト同等以上ノ學力アリト檢定セラレタル者

右ノ各款ノ一ニ該當スル者ニシテ

1 行政官及司法官

康德十年(昭和十八年)十二月末日現在ニ於テ滿三十歲未滿ノ者

2 技術官

左ノ科目ノ一ヲ修得シタル者

農業、農藝土木、林業、農藝化學、園藝、水產、畜產、獸醫、物理、醫學、藥學、紡織、地質、機械、電氣、應用化學、探礦、冶金、土木、建築

3 教官

左ノ科目ヲ修得シタル者

國民道德、教育、地歴、數學、理科、國語、體育、商學、商業、日語、英語、蒙古語、家事裁縫、音樂

二 鑒衡方法

人物識見考查(口述)及身體檢查トス但シ身體檢查ハ應募書類中ノ健康診斷書ヲ以テ之ニ代フルコトアルベシ

三 施行期間、施行地及施行場所

(一) 自康德十年九月上旬至同年九月中旬

(二) 施行地、新京、奉天、哈爾濱

(三) 施行日時及施行場所ハ追テ各應募者ニ通知ス

四 出願期限及應募手續

左ノ書類ヲ八月二十日迄ニ新京國務院國務

入事處練成科氣付總務廳委任文官考試委員會委員長ニ提出スベシ但シ國內大學卒業シタル者ニ在リテハ出身校ヲ經由提出スベシ尙國內大學ヲ本年度卒業ノ見込アルモノニ在リテハ文教部提出ノ書類ヲ以テ代用スルニ付不要トス

(一) 應募願書(行政官及司法官ハ第一號書式、技術官及教官ハ第二號書式)

(二) 履歷書(第三號書式、本人自筆ノモノ)

(三) 家族調書(第四號書式)

(四) 健康診斷書(第五號書式、官公立醫院、滿鐵醫院又ハ赤十字病院ノ證明シタルモノ)

(五) 寫眞一張(出願前一年以內ニ攝影シタル上半身、脫帽、正面ノ手札型寫眞ニシテ裏面ニ攝影年月日、氏名及生年月日ヲ自攝シタルモノ)

(六) 民籍謄本(滿、蒙及俄)又ハ戶籍謄本(日、鮮及臺)

(七) 最終學校ノ人物考查書(第六號書式)但シ應募資格ノ第五款又ハ第六款ニ該當スル者ニ付テハ人物考查書ニ代フルニ應募資格ヲ證明スルニ足ル書類)

(八) 最終學校ノ學業成績表

(九) 所屬長ノ應募許可證(現職者ノミ)及格者發表

及合格者ノ氏名ハ康德十年十月上旬滿洲國政府公報ヲ以テ之ヲ公告シ及格者ニハ及格證書ヲ付與ス

六 其他

(一) 寫眞ハ裏面上部ニ糊ヲ著ケ寫眞貼附欄ニ貼付スベシ

(二) 應募願書及其ノ添附書類ハ第四項記載ノ順序ニ取揃ヘニツ折リ紙捻訂綴トシ封筒ニ封入ノ上表面ニ「委任官採用鑒衡應募願書在中」ト明記シ所定ノ箇所ニ持込又ハ郵留郵便ニテ差出スベシ

尙其ノ際出願者ノ住所氏名記載ノ返信用封筒ヲ同封シ置クベシ

(三) 本籍、現住所、通知ヲ受クベキ場所又ハ氏名ニ付變更アリタルトキハ直ニ届出ツベシ其ノ他ノ事項ニ關スル變更ハ特別ノ事

一 應募資格

(一) 大學畢業者或於該學校最後學年在學而有畢業希望者

(二) 建國大學前期修了者或於該期最後學年在學而有修了希望者

(三) 奉天商科學院、北滿學院、王道書院、盛京醫科大學畢業者或於該學校最後學年在學而有畢業之希望者

(四) 日本之高等學校或依專門學校令或實業學校令之專門學校以上之學校畢業者或於該學校最後學年在學而有畢業之希望者

(五) 日本之高等試驗之本試驗或預備試驗及格者

(六) 在日本被檢定爲具有高等學校或依專門學校令或實業學校令之專門學校畢業者同等以上之學力者

適合於右列各款之一者

1 行政官及司法官

康德十年(昭和十八年)十二月末日現在未滿三十歲者

2 技術官

修得左列科目之一者

農業、農藝土木、林業、農藝化學、園藝、水產、畜產、獸醫、物理、醫學、藥學、紡織、地質、機械、電氣、應用化學、探礦、冶金、土木、建築

3 教官

修得左列科目者

國民道德、教育、地歴、數學、理科、國語、體育、商學、商業、日語、英語、蒙古語、家事裁縫、音樂

二 鑒衡方法

爲人物識見考查(口述)及身體檢查但身體檢查得以應募書類中之健康診斷書代之

三 施行期間、施行地及施行場所

(一) 自康德十年九月上旬至同九月中旬

(二) 施行地 新京、奉天、哈爾濱

(三) 施行日時及施行場所另向各應募者通知之

四 報名期限及應募手續

左列文件須於八月二十日前向新京國務院國務

應入事處練成科轉交總務廳委任文官考試委員會委員長提出之但國內大學畢業者須經由出身學校提出之

於國內大學本年度有畢業希望者以文教部提出之文件代用之無庸提出

(一) 應募願書(行政官及司法官爲第一號書式、技術官及教官爲第二號書式)

(二) 履歷書(第三號書式、本人親筆者)

(三) 家族調書(第四號書式)

(四) 健康診斷書(第五號書式、官公立醫院、滿鐵醫院或赤十字病院所證明者)

(五) 照片一張(報名前一年以內所撮之上半身、脫帽、正面之四寸型照片於背面自攝攝影年月日、姓名及生年月日)

(六) 民籍謄本(滿、蒙及俄)或戶籍謄本(日、鮮及臺)

(七) 最終學校之人物考查書(第六號書式、但對於適合應募資格第五款或第六款者可用足以證明有應募資格之文件以代替人物考查書)

(八) 最終學校學業成績表

(九) 所屬長之應募許可證(現職者ノミ)及格者發表

及格者姓名以康德十年十月上旬滿洲國政府公報公告之並向及格者授與及格證書

六 其他

(一) 照片須於背面上部以漿糊黏貼於貼照片欄內

(二) 應募願書及其添附文件須按第四項記載之順序整理齊備折二疊以紙捻訂綴裝入信封之後於表面寫明「內寄委任官採用鑒衡應募願書」務須親身或以郵信提出於所定之處所

(三) 本籍、現住所、受通知地址或姓名如有變更時應立即呈報關於其他事項之變更除有特別事由外概不承認

一 應募資格

(一) 大學卒業シタル者又ハ當該學校ノ最終學年ニ在學シ卒業ノ見込アル者

(二) 建國大學ノ前期ヲ修了シタル者又ハ當該期ノ最終學年ニ在學シ修了ノ見込アル者

(三) 奉天商科學院、北滿學院、王道書院、盛京醫科大學卒業シタル者又ハ當該學校ノ最終學年ニ在學シ卒業ノ見込アル者

(四) 日本ノ高等學校又ハ專門學校令若ハ實業學校令ニ依ル專門學校以上ノ學校ヲ卒業シタル者又ハ當該學校ノ最終學年ニ在學シ卒業ノ見込アル者

(五) 日本ノ高等試驗ノ本試驗又ハ豫備試驗ニ及格シタル者

(六) 日本ニ於テ高等學校又ハ專門學校令若ハ實業學校令ニ依ル專門學校ヲ卒業シタル者ト同等以上ノ學力アリト檢定セラレタル者

適合於右列各款之一者

1 行政官及司法官

康德十年(昭和十八年)十二月末日現在ニ於テ滿三十歲未滿ノ者

2 技術官

左ノ科目ノ一ヲ修得シタル者

農業、農藝土木、林業、農藝化學、園藝、水產、畜產、獸醫、物理、醫學、藥學、紡織、地質、機械、電氣、應用化學、探礦、冶金、土木、建築

3 教官

左ノ科目ヲ修得シタル者

國民道德、教育、地歴、數學、理科、國語、體育、商學、商業、日語、英語、蒙古語、家事裁縫、音樂

二 鑒衡方法

人物識見考查(口述)及身體檢查トス但シ身體檢查ハ應募書類中ノ健康診斷書ヲ以テ之ニ代フルコトアルベシ

三 施行期間、施行地及施行場所

(一) 自康德十年九月上旬至同九月中旬

(二) 施行地、新京、奉天、哈爾濱

(三) 施行日時及施行場所ハ追テ各應募者ニ通知ス

四 出願期限及應募手續

左ノ書類ヲ八月二十日迄ニ新京國務院國務

入事處練成科氣付總務廳委任文官考試委員會委員長ニ提出スベシ但シ國內大學卒業シタル者ニ在リテハ出身校ヲ經由提出スベシ尙國內大學ヲ本年度卒業ノ見込アルモノニ在リテハ文教部提出ノ書類ヲ以テ代用スルニ付不要トス

(一) 應募願書(行政官及司法官ハ第一號書式、技術官及教官ハ第二號書式)

(二) 履歷書(第三號書式、本人自筆ノモノ)

(三) 家族調書(第四號書式)

(四) 健康診斷書(第五號書式、官公立醫院、滿鐵醫院又ハ赤十字病院ノ證明シタルモノ)

(五) 寫眞一張(出願前一年以內ニ撮影シタル上半身、脫帽、正面ノ手札型寫眞ニシテ裏面ニ攝影年月日、氏名及生年月日ヲ自攝シタルモノ)

(六) 民籍謄本(滿、蒙及俄)又ハ戶籍謄本(日、鮮及臺)

(七) 最終學校ノ人物考查書(第六號書式)但シ應募資格ノ第五款又ハ第六款ニ該當スル者ニ付テハ人物考查書ニ代フルニ應募資格ヲ證明スルニ足ル書類)

(八) 最終學校ノ學業成績表

(九) 所屬長ノ應募許可證(現職者ノミ)及格者發表

及格者ノ氏名ハ康德十年十月上旬滿洲國政府公報ヲ以テ之ヲ公告シ及格者ニハ及格證書ヲ付與ス

六 其他

(一) 寫眞ハ裏面上部ニ糊ヲ著ケ寫眞貼附欄ニ貼付スベシ

(二) 應募願書及其ノ添附書類ハ第四項記載ノ順序ニ取揃ヘニツ折リ紙捻訂綴トシ封筒ニ封入ノ上表面ニ「委任官採用鑒衡應募願書在中」ト明記シ所定ノ箇所ニ持込又ハ郵留郵便ニテ差出スベシ

尙其ノ際出願者ノ住所氏名記載ノ返信用封筒ヲ同封シ置クベシ

(三) 本籍、現住所、通知ヲ受クベキ場所又ハ氏名ニ付變更アリタルトキハ直ニ届出ツベシ其ノ他ノ事項ニ關スル變更ハ特別ノ事

(四) 應試證書及其添附文件概不發還但證書
依其請求發還之
(五) 其他詳細事項可直接或添附記載受領人
地址及姓名之回信用封筒及回信用郵票向提
出應募文件之處所詢問

備考
一 採用後之待遇
(一) 採用後之待遇及格者於康德十一年一月任官
委任官
(二) 以新近在勤者(日采) 爲例之初任給與
標準如左

學校別	任用官別	本俸	職務津貼(日采)	冬季津貼		住宅津貼	月收年平均額
				有家者	獨身者		
日本國大學	委任 行政官	200.00	20.00	10.50	10.50	110.00	155.00
	委任 司法官	200.00	20.00	10.50	10.50	110.00	155.00
	委任 工科	100.00	10.00	5.25	5.25	55.00	75.00
	委任 其他	200.00	20.00	10.50	10.50	110.00	155.00
	委任 醫科	100.00	10.00	5.25	5.25	55.00	75.00
	委任 技術官	100.00	10.00	5.25	5.25	55.00	75.00
大學及日本 國專門學校	委任 行政官	100.00	10.00	5.25	5.25	55.00	75.00
	委任 司法官	100.00	10.00	5.25	5.25	55.00	75.00
	委任 工科	50.00	5.00	2.62	2.62	27.50	37.50
	委任 其他	100.00	10.00	5.25	5.25	55.00	75.00
	委任 醫科	50.00	5.00	2.62	2.62	27.50	37.50
	委任 技術官	50.00	5.00	2.62	2.62	27.50	37.50

1 本俸係以新卒者爲標準既往學費而有
職階者得按其職階爲標準之增額
2 冬季津貼係將半年間之月收按一年間之
月收平均、於冬季六箇月間(自十月至翌
年三月)按本俸(日采包含職務津貼)對
應額支給一或中額支給一或五分北額支給
二或
3 住宅津貼甲地城有家族者支給一或六
分、獨身者爲一成
4 家族津貼其率給或月收額於一百圓以上
一百三十圓未滿者按家族數支給十五圓乃
至二十圓
5 對其他於僻地勤務者按勤務地支給月額
十圓乃至五十八圓之勤務地津貼

月以內官更必要之一般教育及實務訓練
(四) 訓練所在所中除支給津貼外並借與特殊
之被服及修學必要之圖書及其他物品
(五) 對決定採用者支給所定之赴任旅費及家
族移轉料
(六) 任用後經過三年即可受高等官資格考試
或銜而任高等官
(七) 共濟、恩給制度
1 共濟制度
依共濟法之規定支給療養金、休養金、退
出金、遺族扶助金或家族療養金
2 恩給制度
制度之概要如左
甲 退職恩給
在職二年以上時按在職年數將所定金額

由ナキ限リ之ヲ認メズ
(四) 應募證書及其添附書類ハ之ヲ還付セ
ズ但シ證書ハ請求ニ因リ之ヲ還付ス
(五) 其ノ他詳細ニ付テハ直接若ハ返信用ト
シテ受取人ノ住所及宛名ヲ記載シタル封筒
及返信用切手ヲ添へ應募書類ヲ提出スルニ
當リニ照會セラルベシ

學校別	任用官別	本俸	職務津貼(日采)	冬季津貼		住宅津貼	月收年平均額
				有家者	獨身者		
日本國大學	委任 行政官	200.00	20.00	10.50	10.50	110.00	155.00
	委任 司法官	200.00	20.00	10.50	10.50	110.00	155.00
	委任 工科	100.00	10.00	5.25	5.25	55.00	75.00
	委任 其他	200.00	20.00	10.50	10.50	110.00	155.00
	委任 醫科	100.00	10.00	5.25	5.25	55.00	75.00
	委任 技術官	100.00	10.00	5.25	5.25	55.00	75.00
大學及日本 國專門學校	委任 行政官	100.00	10.00	5.25	5.25	55.00	75.00
	委任 司法官	100.00	10.00	5.25	5.25	55.00	75.00
	委任 工科	50.00	5.00	2.62	2.62	27.50	37.50
	委任 其他	100.00	10.00	5.25	5.25	55.00	75.00
	委任 醫科	50.00	5.00	2.62	2.62	27.50	37.50
	委任 技術官	50.00	5.00	2.62	2.62	27.50	37.50

1 本俸ハ新卒者ノ標準ニシテ過年度平
均者ニシテ應得ノ有スル者ハ其ノ職階ニ
依リ適宜増額スルコトアルベシ
2 冬季津貼ハ半年間ノ月收ヲ一年間ノ月
收ニ平均シタルモノニシテ冬季六箇月間
(自十月至翌年三月)本俸ニ對シ(日采
ノ場合ハ職務津貼ヲ含ム)南額一或中額
一或五分北額ニ對シ支給ス
3 住宅津貼ハ甲地城ニ在リテハ有家族者
寄一或六分、獨身者一或五支給ス
4 家族津貼ハ俸給又ハ月收額百圓以上百
三十圓未滿ノ場合ハ家族數ニ依リ一五圓
乃至二〇圓ヲ支給ス
5 其ノ他僻地ニ勤務スル者ニ對シテハ勤
務地ニ應ジ月額十圓乃至五十八圓ノ勤務
地津貼ヲ支給ス

六月以內官更トシテ必要ナル一般教育及
實務訓練ヲ施ス
(四) 訓練所在所中ハ津貼ヲ支給スルノ外特殊
ノ被服及修學ニ必要ナル圖書其ノ他ノ物品
ヲ貸與ス
(五) 採用決定者ニ對シテハ所定ノ赴任旅費
及家族移轉料ヲ支給ス
(六) 任用後三年ヲ經過セバ高等官資格考試
又ハ同銜而任高等官ニ任用ス
(七) 共濟、恩給制度
1 共濟制度
共濟法ノ定ムル所ニ依リ療養金、休養金
退出金、遺族扶助金又ハ家族療養金ヲ給
付ス
2 恩給制度
制度ノ概要左ノ如シ
イ 退職恩給
二年以上在職シタルトキハ在職年數ニ

(四) 應試證書及其添附文件概不發還但證書
依其請求發還之
(五) 其他詳細事項可直接或添附記載受領人
地址及姓名之回信用封筒及回信用郵票向提
出應募文件之處所詢問

備考
一 採用後之待遇
(一) 採用後之待遇及格者於康維十一年一月任官
委任官
(二) 以新近在勤者(日米) 爲例之初任給與
標準如左

學校別	任用官別	本俸	職務給 貼(日米)	冬季		月收年平均額
				住宅津貼	津貼	
日本國大學	委任 行政官	200.00	20.00	10.50	10.10	155.60
	委任 司法官	100.00	10.00	5.25	5.05	77.30
	委任 工科	100.00	10.00	5.25	5.05	77.30
	委任 其他	100.00	10.00	5.25	5.05	77.30
	委任 醫科	100.00	10.00	5.25	5.05	77.30
	委任 技術官	100.00	10.00	5.25	5.05	77.30
大學及日本 國專門學校	委任 行政官	100.00	10.00	5.25	5.05	77.30
	委任 司法官	100.00	10.00	5.25	5.05	77.30
	委任 工科	100.00	10.00	5.25	5.05	77.30
	委任 其他	100.00	10.00	5.25	5.05	77.30
	委任 醫科	100.00	10.00	5.25	5.05	77.30
	委任 技術官	100.00	10.00	5.25	5.05	77.30

1 本俸係以新卒者爲標準既往學業而有
職業者得按其職階爲標準之增額
2 冬季津貼係將半年間之月收按一年間之
月收平均、於冬季六箇月間(自十月至翌
年三月)按本俸(日米包含職務津貼)對
應額支給一或中職支給一或五分北職支給
二或
3 住宅津貼甲地城有家族者支給一或六
分、獨身者爲一成
4 家族津貼其率給或月收額於一百圓以上
一百三十圓未滿者按家族數支給十五圓乃
至二十圓
5 對其他於僻地勤務者按勤務地支給月額
十圓乃至五十八圓之勤務地津貼

月以內官更必要之一般教育及實務訓練
(四) 訓練所在所中除支給津貼外並借與特殊
之被服及修學必要之圖書及其他物品
(五) 對決定採用者支給所定之赴任旅費及家
族移轉料
(六) 任用後經過三年即可受高等官資格考試
或銜而任高等官
(七) 共濟、恩給制度
1 共濟制度
依共濟法之規定支給療養金、休養金、退
出金、遺族扶助金或家族療養金
2 恩給制度
制度之概要如左
甲 退職恩給
在職二年以上時按在職年數將所定金額

由ナキ限リ之ヲ認メズ
(四) 應募證書及其添附書類ハ之ヲ返付セ
ズ但シ證書ハ請求ニ因リ之ヲ返付ス
(五) 其ノ他詳細ニ付テハ直接若ハ返信用ト
シテ受取人ノ住所及宛名ヲ記載シタル封筒
及返信用切手ヲ添へ應募書類ヲ提出スヘキ
箇所ニ照會セラルベシ

學校別	任用官別	本俸	職務給 貼(日米)	冬季		月收年平均額
				住宅津貼	津貼	
日本國大學	委任 行政官	200.00	20.00	10.50	10.10	155.60
	委任 司法官	100.00	10.00	5.25	5.05	77.30
	委任 工科	100.00	10.00	5.25	5.05	77.30
	委任 其他	100.00	10.00	5.25	5.05	77.30
	委任 醫科	100.00	10.00	5.25	5.05	77.30
	委任 技術官	100.00	10.00	5.25	5.05	77.30
大學及日本 國專門學校	委任 行政官	100.00	10.00	5.25	5.05	77.30
	委任 司法官	100.00	10.00	5.25	5.05	77.30
	委任 工科	100.00	10.00	5.25	5.05	77.30
	委任 其他	100.00	10.00	5.25	5.05	77.30
	委任 醫科	100.00	10.00	5.25	5.05	77.30
	委任 技術官	100.00	10.00	5.25	5.05	77.30

1 本俸ハ新卒者ノ標準ニシテ過年度平
均者ニシテ應得ノ有スル者ハ其ノ職階ニ
依リ適宜増額スルコトアルベシ
2 冬季津貼ハ半年間ノ月收ヲ一年間ノ月
收ニ平均シタルモノニシテ冬季六箇月間
(自十月至翌年三月)本俸ニ對シ(日米
ノ適合ハ職務津貼ヲ含ム)南職一割中職
一割五分北職二割ヲ支給ス
3 住宅津貼ハ甲地城ニ在リテハ有家族者
寄一割六分、獨身者一割ヲ支給ス
4 家族津貼ハ俸給又ハ月收額百圓以上百
三十圓未滿ノ場合ハ家族數ニ依リ一五圓
乃至二〇圓ヲ支給ス
5 其ノ他僻地ニ勤務スル者ニ對シテハ勤
務地ニ應ジ月額十圓乃至五十八圓ノ勤務
地津貼ヲ支給ス
(三) 任用ト同時ニ所定ノ訓練所ニ入所セシ

六月以內官更トシテ必要ナル一般教育及
實務訓練ヲ施ス
(四) 訓練所在中ハ津貼ヲ支給スルノ外特殊
ノ被服及修學ニ必要ナル圖書其ノ他ノ物品
ヲ貸與ス
(五) 採用決定者ニ對シテハ所定ノ赴任旅費
及家族移轉料ヲ支給ス
(六) 任用後三年ヲ經過セバ高等官資格考試
又ハ同銜ヲ經テ高等官ニ任用ス
(七) 共濟、恩給制度
1 共濟制度
共濟法ノ定ムル所ニ依リ療養金、休養金
退出金、遺族扶助金又ハ家族療養金ヲ給
付ス
2 恩給制度
制度ノ概要左ノ如シ
イ 退職恩給
二年以上在職シタルトキハ退職年數ニ

以一時金支給之

乙 傷病恩給
因公務而傷病使身體發生障害時支給之分爲傷病年金及傷病一時金二種

丙 死亡恩給
在職中死亡時對其遺族支給之分爲遺族年金、遺族一時金及葬祭料三種

(八) 應召或充現役兵入營中之待遇
由於充員召集、國民兵召集及臨時召集應召六箇月以上或充現役兵被徵集在營六箇月以上時命其休職但現役兵被徵集其在營期間已明確爲六箇月以上者以入營之日命其休職休職中給與如左

1 應召
支給本俸及生計職務津貼(本俸之二成)

及冬季津貼之各全額但對將校及准士官者支給已扣除特定金額者

2 入營
有家族者 支給本俸及生計職務津貼(本俸之二成)之各二分之一並支給冬季津貼之全額
獨身者 支給本俸及生計職務津貼(本俸之二成)之各四分之一並冬季津貼之全額

二 不得受銓衡者
合於左列各款之一者不得受文官考試
(一) 被處禁錮以上之刑者
(二) 禁治產者
(三) 準禁治產者
於外國受合於前項各款之一之處分或宣告者亦準於前項

應召所定ノ金額ヲ一時金トシテ支給ス

傷病恩給
公務ニ因ル傷病ノ爲身體ノ障害ヲ胎シタルトキ之ヲ支給スルモノニシテ傷病年金及傷病一時金ノ二種トス

死亡恩給
在職中死亡シタルトキ之ヲ其ノ遺族ニ支給スルモノニシテ遺族年金、遺族一時金及葬祭料ノ三種トス

(八) 應召又ハ現役兵トシテ入營中ノ待遇
充員召集、國民兵召集及臨時召集ニ依リ六箇月以上應召シ又ハ現役兵トシテ徵集セラレ在營六箇月以上ニ互ルトキハ休職ヲ命ズ但シ現役兵ニ徵集セラレ在營六箇月以上ニ互ルコト明確ナル者ハ入營ノ日ヲ以テ休職ヲ命ズ休職中ノ給與如シ

1 應召
本俸、生計職務津貼(本俸ノ二割)及冬季津貼ノ各全額ヲ支給ス但シ將校又ハ准士官タルモノニ對シテハ特定ノ金額ヲ控除シタルモノヲ支給ス

2 入營
有家族者 本俸及生計職務津貼(本俸ノ二割)ノ各二分ノ一並ニ冬季津貼ノ全額ヲ支給ス
獨身者 本俸及生計職務津貼(本俸ノ二割)ノ各四分ノ一並ニ冬季津貼ノ全額ヲ支給ス

二 銓衡ヲ受クルコトヲ得ザル者
左ノ各款ノ一ニ該當スル者ハ文官考試ヲ受ケルコトヲ得ズ
(一) 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者
(二) 禁治產者
(三) 準禁治產者
外國ニ於テ前項各款ノ一ニ該當スル處分又ハ宣告ヲ受ケタル者亦前項ニ準ズ

第一號書式(用紙美濃紙)

委任官採用銓衡應募願書

貼像片欄 本籍 現住所 受通知地址

希望官別
希望銓衡地
留學認可號數(限留日學生)

茲擬應募委任官採用銓衡理合備具書類報請
鑒核施行謹呈

總務廳委任文官考試委員會委員長 鈞鑒

年 月 日

右 姓 年 月 日生 名

第一號書式(用紙半紙)

委任官採用銓衡應募願書

寫真貼附欄 本籍 現住所 通知ヲ受ケベキ場所

希望官別
希望銓衡地
留學認可番號(留學生ノミ)

委任官採用銓衡應募致慶候ニ付書類相添ヘ此段及出願候也

年 月 日

右 氏 年 月 日生 名

以一時金支給之

乙 傷病恩給
因公務而傷病使身體發生障害時支給之分爲傷病年金及傷病一時金二種

丙 死亡恩給
在職中死亡時對其遺族支給之分爲遺族年金、遺族一時金及葬祭料三種

(八) 應召或充現役兵入營中之待遇
由於充員召集、國民兵召集及臨時召集應召六箇月以上或充現役兵被徵集在營六箇月以上時命其休職但現役兵被徵集其在營期間已明確爲六箇月以上者以入營之日命其休職休職中給與如左

及冬季津貼之各全額但對將校及准士官者支給已扣除特定金額者

2 入營
有家族者 支給本俸及生計職務津貼(本俸之二成)之各二分之一並支給冬季津貼之全額
獨身者 支給本俸及生計職務津貼(本俸之二成)之各四分之一並冬季津貼之全額

二 不得受銓衡者
合於左列各款之一者不得受文官考試
(一) 被處禁錮以上之刑者
(二) 禁治產者
(三) 準禁治產者
於外國受合於前項各款之一之處分或宣告者亦準於前項

應召所定ノ金額ヲ一時金トシテ支給ス

傷病恩給
公務ニ因ル傷病ノ爲身體ノ障害ヲ胎シタルトキ之ヲ支給スルモノニシテ傷病年金及傷病一時金ノ二種トス

死亡恩給
在職中死亡シタルトキ之ヲ其ノ遺族ニ支給スルモノニシテ遺族年金、遺族一時金及葬祭料ノ三種トス

(八) 應召又ハ現役兵トシテ入營中ノ待遇
充員召集、國民兵召集及臨時召集ニ依リ六箇月以上應召シ又ハ現役兵トシテ徵集セラレ在營六箇月以上ニ互ルトキハ休職ヲ命ズ但シ現役兵ニ徵集セラレ在營六箇月以上ニ互ルコト明確ナル者ハ入營ノ日ヲ以テ休職ヲ命ズ休職中ノ給與如シ

冬季津貼ノ各全額ヲ支給ス但シ將校又ハ准士官タルモノニ對シテハ特定ノ金額ヲ控除シタルモノヲ支給ス

2 入營
有家族者 本俸及生計職務津貼(本俸ノ二割)ノ各二分ノ一並冬季津貼ノ全額ヲ支給ス
獨身者 本俸及生計職務津貼(本俸ノ二割)ノ各四分ノ一並冬季津貼ノ全額ヲ支給ス

二 銓衡ヲ受クルコトヲ得ザル者
左ノ各款ノ一ニ該當スル者ハ文官考試ヲ受ケルコトヲ得ズ
(一) 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者
(二) 禁治產者
(三) 準禁治產者
外國ニ於テ前項各款ノ一ニ該當スル處分又ハ宣告ヲ受ケタル者亦前項ニ準ズ

第一號書式(用紙美濃紙)

委任官採用銓衡應募願書

貼像片欄 本籍 現住所 受通知地址

希望官別
希望銓衡地
留學認可號數(限留日學生)

茲擬應募委任官採用銓衡理合備具書類報請
鑒核施行謹呈
總務廳委任文官考試委員會委員長 鈞鑒

年 月 日

右 姓名 年 月 日生

第一號書式(用紙半紙)

委任官採用銓衡應募願書

寫真貼附欄 本籍 現住所 通知ヲ受ケベキ場所

希望官別
希望銓衡地
留學認可番號(留學生ノミ)

委任官採用銓衡應募致慶候ニ付書類相添ヘ此段及出願候也

年 月 日

右 氏 年 月 日生

私 名

總務廳委任文官考試委員會委員長 殿

第二號書式(用紙美濃紙)

委任官採用銓衡應募願書

本籍
貼像片欄
現住所
受通知地址

一 希望官別(修得科目)「須如技術官(林業)等記載之」

一 希望銓衡地

一 留學認可號數(限留日學生)

茲擬應募委任官採用銓衡理合具備書類報請

鑒核施行謹呈

總務廳委任官考試委員會委員長 鈞鑒

年 月 日

右

姓

姓
年 月 日生 名

名

第三號書式(用紙美濃紙)

本籍
現住所

履歷書

學 歷
職 歷
兵役關係
賞 罰
其 他

一 宗 教
二 運 動
三 語 學
四 特殊技能

照右開無訛

年 月 日

右

姓

姓
年 月 日生 名
(滿 月 歲)

名

第二號書式(用紙半紙)

委任官採用銓衡應募願書

本籍
寫真貼附欄
現住所
通知ヲ受クベキ場所

一 希望官別(修得科目)「註技術官(林業)等ノ如ク記載スベシ」

一 希望銓衡地

一 留學認可番號(留學生ノミ)

委任官採用銓衡應募致度候ニ付書類相添ヘ此段及出候候也

年 月 日

右

氏

氏
年 月 日生 名

名

第三號書式(用紙半紙)

本籍
現住所

履歷書

學 歷
職 歷
兵役關係
賞 罰
其 他

一 宗 教
二 運 動
三 語 學
四 特殊技能

右之通相違無之候也

年 月 日

氏

氏
年 月 日生 名
(滿 月 歲)

名

第二號書式(用紙美濃紙)

委任官採用銓衡應募願書

本籍
貼像片欄
現住所
受通知地址

希望官別(修得科目)「須如技術官(林業)等記載之」

希望銓衡地

留學認可號數(限留日學生)

茲擬應募委任官採用銓衡理合具備書類報請

鑒核施行謹呈

總務廳委任官考試委員會委員長 鈞鑒

年 月 日

右

姓名

姓
年 月 日生 名

第三號書式(用紙美濃紙)

本籍
現住所

履歷書

學歷
職歷
兵役關係
賞罰
其他

一 宗教
二 運動
三 語學
四 特殊技能

照右開無訛

年 月 日

右

姓名

姓
年 月 日生 名
(滿 月 歲)

第二號書式(用紙半紙)

委任官採用銓衡應募願書

本籍
寫真貼附欄
現住所
通知ヲ受クベキ場所

希望官別(修得科目)「註技術官(林業)等ノ如ク記載スベシ」

希望銓衡地

留學認可番號(留學生ノミ)

委任官採用銓衡應募致度候ニ付書類相添ヘ此段及出候候也

年 月 日

右

姓名

姓
年 月 日生 名

第三號書式(用紙半紙)

本籍
現住所

履歷書

學歷
職歷
兵役關係
賞罰
其他

一 宗教
二 運動
三 語學
四 特殊技能

右之通相違無之候也

年 月 日

右

姓名

姓
年 月 日生 名
(滿 月 歲)

第四號書式 (用紙美濃紙)

本籍 家族調書

現住所 戶主 某某 幾子 姓 年 月 日生 名

有扶養義務之家族

與本人之關係	與戶主之關係	姓	名	生	年	月	日
--------	--------	---	---	---	---	---	---

其他家族

與本人之關係	與戶主之關係	姓	名	生	年	月	日
--------	--------	---	---	---	---	---	---

照右開無訛 年 月 日 姓 名 日生 名

第五號書式

健康診斷書

年 月 日 醫生 名

身	長	體	重
胸	膈	呼吸	縮張之差
視	力	屈	正折視器力
視	器	屈	正折視器力
言語	精神	鼻	口能咽喉器
胸部	疾患及	關節	運動
花柳病	之有無	既	往症
摘要			

年 月 日 醫生 名

第四號書式 (用紙半紙)

本籍 家族調書

現住所 戶主 何某 何男 氏 年 月 日生 名

扶養ノ義務アル家族

本人トノ續柄	戶主トノ續柄	氏	名	生	年	月	日
--------	--------	---	---	---	---	---	---

其他ノ家族

本人トノ續柄	戶主トノ續柄	氏	名	生	年	月	日
--------	--------	---	---	---	---	---	---

右之通相違無之候也 年 月 日 氏 名 日生 名

第五號書式

健康診斷書

年 月 日 醫生 氏 名

身	長	體	重
胸	膈	呼吸	縮張ノ差
視	力	屈	正折視器力
視	器	屈	正折視器力
言語	精神	鼻	口能咽喉器
胸部	疾患及	關節	運動
花柳病	之有無	既	往症
摘要			

年 月 日 醫生 氏 名

第四號書式 (用紙美濃紙)

本籍 家族調書

現住所 戶主 某某 幾子 姓 年 月 日生 名

有扶養義務之家族

與本人之關係	與戶主之關係	姓	名	生	年	月	日
--------	--------	---	---	---	---	---	---

其他家族

與本人之關係	與戶主之關係	姓	名	生	年	月	日
--------	--------	---	---	---	---	---	---

照右開無訛 年 月 日 姓 名 日生 名

第五號書式

健康診斷書

年 月 日 醫生 名

身	長	體	重
胸	膈	呼吸縮張之差	
視	力	屈矯正視器力	
視	器	屈矯正視器力	
言語、精神	器	鼻聽口能咽喉器	
胸部疾患及花柳病之有無	既	關節運動	往症
摘要			

醫師 姓 名 日生 名

第四號書式 (用紙半紙)

本籍 家族調書

現住所 戶主 何某 何男 氏 年 月 日生 名

扶養ノ義務アル家族

本人トノ續柄	戶主トノ續柄	氏	名	生	年	月	日
--------	--------	---	---	---	---	---	---

其ノ他ノ家族

本人トノ續柄	戶主トノ續柄	氏	名	生	年	月	日
--------	--------	---	---	---	---	---	---

右之通相違無之候也 年 月 日 氏 名 日生 名

第五號書式

健康診斷書

年 月 日 醫生 氏 名

身	長	體	重
胸	膈	呼吸縮張ノ差	
視	力	屈矯正視器力	
視	器	屈矯正視器力	
言語、精神	器	鼻聽口能咽喉器	
胸部疾患及花柳病ノ有無	既	關節運動	往症
摘要			

醫師 氏 名 日生 名

第六號書式(用紙美濃紙)

人物考查書

姓名	姓名
性 質 (快活、陰鬱、重厚、輕佻等)	勤 怠 (優良可填入)
素 行 (優良可填入)	識 見 (同 右)
思想傾向	實 行 力 (同 右)
趣 味 (種類、程度等)	調 和 性 (同 右)
軍事教育之成績	長所及短所
總 評 (優良可填入)	
年 月 日	姓 名
學校學部或機關長 姓名	

第六號書式(用紙半紙)

人物考查書

姓名	氏 名
性 質 (快活、陰鬱、重厚、輕佻等)	勤 怠 (優良可ヲ以テ記入ス)
素 行 (優良可ヲ以テ記入ス)	識 見 (同 右)
思想傾向	實 行 力 (同 右)
趣 味 (種類、程度等)	調 和 性 (同 右)
軍事教育之成績	長所及短所
總 評 (優良可ヲ以テ記入ス)	
年 月 日	姓 名
學校(學部又ハ機關)長 氏 姓名	

廣 告

●商業登記

●間島無盡株式會社變更
一 監查役香山松久ハ任期滿了ノ處康德十年二月七日重任シ尙前同日左記ノ者監查役ニ就任ス
平川松太郎 延吉縣延吉街第一〇一八號
康德十年二月十七日登記

●間島農機株式會社變更
一 康德十年二月十五日左ノ者取締役ニ就任ス
大山又圓 延吉縣延吉街第一六六五號
一 康德十年二月十五日左ノ者監查役ニ就任ス
玄璣衡 延吉縣龍井街第一四〇〇號
一 康德十年二月十五日目的ヲ左ノ如ク變更ス
一 農工鐵業用諸器具機械ノ買賣製作修繕
二 肥料販賣、薪炭製造及販賣
三 土木請負業(參萬圓以下ノ工事請負)
四 野草加工賣買
五 右ニ附帶スル一切ノ事業及代理業
●九三商會合名會社解散
一 康德十年二月八日總社員ノ同意ニ因リ解散ス

康德十年二月八日登記

●清算人選任
一 清算人ノ氏名住所 阪本角藏 間島省延吉縣延吉街第一二八一號
一 營業主ノ氏名住所 九三商會合名會社 間島省延吉縣延吉街第九一三號ノ一
康德十年二月二十二日登記 延吉區法院

●滿洲輕金屬製造株式會社變更
一 理事岡崎直喜ハ康德十年四月十日其ノ住所ヲ營口市大和區神明街五號ニ移轉ス
康德十年四月十六日登記

●合資會社飯田工業所變更
一 康德十年四月二十五日左記ノ者新ニ出資シ各有限社員トシテ左ノ如ク入社ス
國幣貳萬圓 全部履行 有限 野口洲彦 撫順市中央大街二九番地
國幣貳萬圓 全部履行 有限 野口タマエ 撫順市中央大街二九番地
國幣壹萬圓 全部履行 有限 島津百香 撫順市中央大街二九番地
康德十年四月三十日

●株式會社撫順製作所變更

一 監查役柳谷午郎ハ康德十年四月二十日其ノ住所ヲ奉天市鐵西區篤工街三段第一號ニ移轉ス
●合資會社協和製紙所變更
一 康德十年四月二十日左記有限責任社員ノ責任ヲ無限ニ變更ス
國幣壹萬八千圓 無限 全部履行 江頭卯三 撫順市東三番町八番地
國幣壹萬貳千圓 無限 全部履行 三島五郎 撫順市東一番町二一番地
國幣壹萬貳千圓 無限 全部履行 田中友治 撫順市西七條通二六番地
國幣壹萬圓 無限 全部履行 土井高 撫順市福橋街七番地
國幣九千圓 無限 全部履行 王化東 奉天市北關區大北街三段二〇四號
前同日無限責任社員濱洲新三ハ會社ノ代表ヲ辭任ス
同日無限責任社員江頭卯三ハ會社ヲ代表ス
康德十年四月二十二日登記

●株式會社今村鐵工所變更

一 康德十年四月一日本店ヲ左ノ地ニ移轉ス
本店 撫順市西一條通三五番地
康德十年四月十四日登記

●合資會社協成藥業公司變更
一 康德十年四月十日有限華山峯春ハ其持分全部ヲ社員無限李宮相石ニ讓渡シテ退社シ李宮相石ハ之ヲ讓受ケ自己ノ持分ヲ左ノ如ク變更ス
國幣四萬九千圓 全部履行 無限 李宮相石 瀋陽縣第三區渾河區臺猪園
同日有限金光三石ハ其持分全部ヲ李宮一先ニ讓渡シテ退社シ李宮一先ハ之ヲ讓受ケ有限トシテ左ノ如ク入社ス
國幣參千五百圓 全部履行 有限 李宮一先 朝鮮馬山府後町七二番地
康德十年四月十三日登記

●滿洲濾紙工業株式會社變更
一 康德十年四月一日本店ヲ左ノ地ニ移轉ス
本店 撫順市東三番町四五番地

第六號書式(用紙美濃紙)

人物考查書

姓名	姓名
性 質 (快活、陰鬱、重厚、輕佻等)	勤 怠 (優良可填入)
素 行 (優良可填入)	識 見 (同 右)
思想傾向	實 行 力 (同 右)
趣 味 (種類、程度等)	調 和 性 (同 右)
軍事教育之成績	長所及短所
總 評 (優良可填入)	
年 月 日	姓 名
學校學部或機關長 姓名	

第六號書式(用紙半紙)

人物考查書

姓名	氏 名
性 質 (快活、陰鬱、重厚、輕佻等)	勤 怠 (優良可ヲ以テ記入ス)
素 行 (優良可ヲ以テ記入ス)	識 見 (同 右)
思想傾向	實 行 力 (同 右)
趣 味 (種類、程度等)	調 和 性 (同 右)
軍事教育之成績	長所及短所
總 評 (優良可ヲ以テ記入ス)	
年 月 日	姓 名
學校(學部又ハ機關)長 氏 姓名	

廣 告

●商業登記

●間島無盡株式會社變更
一 監查役香山松久ハ任期滿了ノ處康德十年二月七日重任シ尙前同日左記ノ者監查役ニ就任ス
平川松太郎 延吉縣延吉街第一〇一八號
康德十年二月十七日登記

●間島農機株式會社變更
一 康德十年二月十五日左ノ者取締役ニ就任ス
大山又圓 延吉縣延吉街第一六六五號
一 康德十年二月十五日左ノ者監查役ニ就任ス
玄機衡 延吉縣龍井街第一四〇〇號
一 康德十年二月十五日目的ヲ左ノ如ク變更ス
一 農工鐵業用諸器具機械ノ買賣製作修繕
二 肥料販賣、薪炭製造及販賣
三 土木請負業(參萬圓以下ノ工事請負)
四 野草加工賣買
五 右ニ附帶スル一切ノ事業及代理業
●九三商會合名會社解散
一 康德十年二月八日總社員ノ同意ニ因リ解散ス

●商業登記

康德十年二月八日登記
●清算人選任
一 清算人ノ氏名住所 阪本角藏 間島省延吉縣延吉街第一二八一號
一 營業主ノ氏名住所 九三商會合名會社 間島省延吉縣延吉街第九一三號ノ一
康德十年二月二十二日登記 延吉區法院

●滿洲輕金屬製造株式會社變更
一 理事岡崎直喜ハ康德十年四月十日其ノ住所ヲ營口市大和區神明街五號ニ移轉ス
康德十年四月十六日登記

●合資會社飯田工業所變更
一 康德十年四月二十五日左記ノ者新ニ出資シ各有限社員トシテ左ノ如ク入社ス
國幣貳萬圓 全部履行 有限 野口洲彦 撫順市中央大街二九番地
國幣貳萬圓 全部履行 有限 野口タマエ 撫順市中央大街二九番地
國幣壹萬圓 全部履行 有限 島津百香 撫順市中央大街二九番地
康德十年四月三十日

●株式會社撫順製作所變更

一 監查役柳谷午郎ハ康德十年四月二十日其ノ住所ヲ奉天市鐵西區篤工街三段第一號ニ移轉ス
●合資會社協和製紙所變更
一 康德十年四月二十日左記有限責任社員ノ責任ヲ無限ニ變更ス
國幣壹萬八千圓 無限 全部履行 江頭卯三 撫順市東三番町八番地
國幣壹萬貳千圓 無限 全部履行 三島五郎 撫順市東一番町二一番地
國幣壹萬貳千圓 無限 全部履行 田中友治 撫順市西七條通二六番地
國幣壹萬圓 無限 全部履行 土井高 撫順市福橋街七番地
國幣九千圓 無限 全部履行 王化東 奉天市北關區大北街三段二〇四號
前同日無限責任社員濱洲新三ハ會社ノ代表ヲ辭任ス
同日無限責任社員江頭卯三ハ會社ヲ代表ス
康德十年四月二十二日登記

●株式會社今村鐵工所變更

一 康德十年四月一日本店ヲ左ノ地ニ移轉ス
本店 撫順市西一條通三五番地
康德十年四月十四日登記

●合資會社協成藥業公司變更
一 康德十年四月十日有限華山峯春ハ其持分全部ヲ社員無限李宮相石ニ讓渡シテ退社シ李宮相石ハ之ヲ讓受ケ自己ノ持分ヲ左ノ如ク變更ス
國幣四萬九千圓 全部履行 無限 李宮相石 瀋陽縣第三區渾河區臺猪園
同日有限金光三石ハ其持分全部ヲ李宮一先ニ讓渡シテ退社シ李宮一先ハ之ヲ讓受ケ有限トシテ左ノ如ク入社ス
國幣參千五百圓 全部履行 有限 李宮一先 朝鮮馬山府後町七二番地
康德十年四月十三日登記

●滿洲濾紙工業株式會社變更
一 康德十年四月一日本店ヲ左ノ地ニ移轉ス
本店 撫順市東三番町四五番地

康德十年四月十二日登記

●合名會社設立

- 一商號 合名會社天一公司
- 一本店 撫順市西三條通一六番地
- 一目的 一體炭類ノ運送
- 一設立ノ年月日 康德十年四月十日
- 一代表社員ノ氏名 芝山明善
- 一社員ノ氏名住所出資ノ目的價格及履行ノ部分 國幣貳千五百圓 全部履行 芝山明善 撫順市西三條通一六番地
- 一國幣貳千五百圓 全部履行 芝山明善 撫順市大官屯三丁目一番地
- 一國幣貳千五百圓 全部履行 姜寶和 撫順市西三條通二六番地
- 一國幣貳千五百圓 全部履行 劉景居 撫順市大馬路一丁目一六番地

●株式會社滿洲紙筒製作所變更

- 一康德十年五月一日左記ノ者會社ヲ代表スベキ取締役ニ就任ス
- 山口米三郎 奉天市大和區青葉町第七號
- 康德十年四月一日登記 撫順區法院

●株式會社滿洲紙筒製作所變更

- 一康德十年五月一日左記ノ者會社ヲ代表スベキ取締役ニ就任ス
- 會社ヲ代表スベキ取締役 志和俊陽 野口三郎
- 康德十年五月五日登記 鐵嶺區法院

●遼西交通株式會社變更

- 一取締役李守本ハ康德十年四月一日辭任シ取締役李守業、齊大昌、彭榮興ハ康德十年四月一日重任シ左記ノ者康德十年四月一日取締役ニ就任ス
- 田原ナラエ 奉天市大和區紅梅町七九番地
- 秀 林 錦州省北鎮縣北鎮街雙塔區縣公署衙門牌第一號
- 郎 景 惠 東京市中野區桃園町四一番地
- 一監查役秀林ハ康德十年四月一日辭任シ左記ノ者同日監查役ニ就任ス
- 李守本 錦州省中縣第三區楊保屯
- 田原信道 奉天市大和區紅梅町七九番地
- 康德十年四月十三日登記 北鎮區法院 黑山區法院

義州區法院

●株式會社滿洲丸大洋紙店拂込變更

- 一康德十年三月一日各株ニ付拂込ミタル株金額ヲ左ノ如ク變更ス
- 各株ニ付拂込ミタル株金額 國幣五拾圓
- 理春砂金株式會社變更
- 一康德十年二月二十七日取締役高濱信男ハ辭任ス
- 滿洲石綿株式會社變更
- 一康德十年二月二十三日取締役二宮裕造ハ死亡ス
- 株式會社新京勝又商店變更
- 一康德十年二月二十五日監查役石井正夫ハ重任ス
- 株式會社設立
- 一商號 田邊產業株式會社
- 一本店 新京特別市大和通第四二號
- 一目的 一輕合金ノ電鍍加工並ニ各種金屬ノ鍍金 二樂器ノ製造販賣並ニ仲介 三蓄音機並ニ音盤ノ販賣 四前各號ニ附帶スル一切ノ業務
- 一成立ノ年月日 康德十年三月九日
- 一資本ノ總額 國幣拾五萬圓
- 一各株ノ金額 國幣五拾圓
- 一各株ニ付キ拂込ミタル株金額 國幣貳拾五圓
- 一株式讓渡ノ禁止又ハ制限ノ規定 當會社ノ株式ハ取締役會ノ承認ヲ經ルニ非ラザレバ之ヲ讓渡スルコトヲ得ズ
- 一公告ノ方法 政府公報ニ掲載ス
- 一取締役ノ住所氏名 森川 昇二 奉天市大和區青葉町第三〇號 古城貴代士 同市同區青葉町第二〇號 上原 賢 新京特別市祝町三丁目第一五號 赤津 賢 大連市長春臺町九番地 古城 拾三 撫順市東七條通五二 五十嵐 稔 撫順市東七條通四八番地 一會社ヲ代表スベキ取締役 森川昇二、古城貴代士、上原賢
- 一監查役ノ住所氏名 五十嵐善七 撫順市東七條通五〇番地 姓名 政一 奉天市大和區大和町第一五號 一存立時期 會社設立ノ日ヨリ滿二十箇年

帝國火災保險株式會社支店設立(外國會社)

- 一昭和十八年三月一日支店ヲ左ノ地ニ設立ス
- 支店 京城府南大門通五丁目二五番地 臺北市表町二丁目三番地
- 株式會社滿洲松本組變更
- 一康德十年二月二十五日株式讓渡制限ヲ左ノ如ク變更ス
- 本會社ノ株式ハ他人ヘ讓渡シ又ハ質權設定ヲナスコトヲ得ザルモノトス
- 但シ特別ノ事情生ジタル場合ニ限リ取締役會長ノ承諾ヲ經テ之ヲ認ムルコトヲアルベシ
- 一同日左記ノ者取締役ニ就任ス 中山久樹 牡丹江市圓明街第八號ノ六
- 一監查役井上知道ハ同日重任ス
- 一同日左記ノ者監查役ニ就任ス 水草武雄 京城府漢江通二丁目三三五番地
- 滿洲櫻房株式會社
- 一康德十年二月二十八日取締役佐藤兵逸、同添田新、同依田喜多男、櫻野貞夫ハ重任ス
- 一同日左記ノ者取締役ニ就任ス 小荒井五子男 奉天市大和區稻葉町第七號
- 一同日會社ヲ代表スベキ取締役佐藤兵逸ハ重任ス
- 株式會社阜新豐源變更
- 一康德十年二月二十五日取締役坂入政一ハ辭任シ同日左記ノ者取締役ニ就任ス 丸山良一 堺市陵西通リ四ノ三六
- 一監查役平田九郎ハ同日重任ス
- 滿洲石油株式會社變更
- 一理事小野卯太郎ハ康德十年二月二十八日死亡ス
- 合資會社設立
- 一商號 合資會社武田商會
- 一本店 新京特別市八島通第二九號ノ三
- 一目的 一雜貨及ビ食料品ノ製造並ニ販賣 二農園及ビ畜産經營 三木工藝品ノ製作並ニ販賣 四建築材料ノ販賣 五不動產ノ賣買 六其ノ他右各項ニ附帶スル一切ノ業務
- 一代表社員ノ氏名 武田盛宣
- 一無限責任社員ノ氏名住所出資ノ目的價格履行ノ部分

國幣五萬圓整 全部履行 無限 武田盛宣

- 合名會社中央電業社解散
- 一康德十年三月一日總社員ノ同意ニ因リ解散ス
- 大澤ミシン合名會社變更
- 一康德十年三月一日左ノ者左記ノ通出資シテ入社ス 國幣五萬圓 全部履行 大澤俊之 新京特別市西長春大街第三四號ノ一
- 大澤ミシン合名會社變更
- 一康德十年三月一日社員大澤一夫、同大澤俊夫ノ各國幣貳萬貳千五百圓ヲ出資シ各其ノ出資額ヲ左ノ通り變更ス 國幣貳萬五千圓 全部履行 大澤一夫 國幣貳萬五千圓 同 大澤俊夫
- 大澤ミシン合名會社變更
- 一康德十年三月一日代表社員大澤一夫ハ辭任シ同日左記ノ者代表社員ニ就任ス 大澤ミシン 大澤俊夫
- 大澤ミシン合名會社變更
- 一康德十年三月一日社員大澤一夫、同大澤俊夫ハ其ノ住所ヲ左ノ地ニ移轉ス 大澤一夫 新京特別市西長春大街第三四號ノ一 大澤俊夫 同 所
- 合名會社大澤ミシン公司商號變更
- 一康德十年三月一日商號ヲ左ノ通り變更ス 商號 大澤ミシン合名會社
- 合名會社大澤ミシン公司本店移轉
- 一康德十年三月一日本店ヲ左ノ地ニ移轉ス 本店 新京特別市西長春大街第三四號ノ一 康德十年三月十一日登記 新京區法院

康德十年四月十二日登記

●合名會社設立

- 一商號 合名會社天一公司
- 一本店 撫順市西三條通一六番地
- 一目的 一體炭類ノ運送
- 一設立ノ年月日 康德十年四月十日
- 一代表社員ノ氏名 芝山明善
- 一社員ノ氏名住所出資ノ目的價格及履行ノ部分 國幣貳千五百圓 全部履行 芝山明善 撫順市西三條通一六番地
- 一國幣貳千五百圓 全部履行 芝山明善 撫順市大官屯三丁目一番地
- 一國幣貳千五百圓 全部履行 姜寶和 撫順市西三條通二六番地
- 一國幣貳千五百圓 全部履行 劉景居 撫順市大馬路一丁目一六番地

●株式會社設立

- 一存立時期 設立ノ日ヨリ滿二十箇年
- 一康德十年四月十日登記
- 滿洲沖上工業株式會社變更
- 一康德十年三月二十五日左記ノ者新ニ取締役ニ就任ス
- 山口米三郎 奉天市大和區青葉町第七號
- 康德十年四月一日登記
- 撫順區法院
- 株式會社滿洲紙筒製作所變更
- 一康德十年五月一日左記ノ者會社ヲ代表スベキ取締役ニ就任ス
- 會社ヲ代表スベキ取締役 志和俊陽 野口三郎
- 康德十年五月五日登記
- 鐵嶺區法院

●遼西交通株式會社變更

- 取締役李守本ハ康德十年四月一日辭任シ取締役李守業、齊大昌、彭榮興ハ康德十年四月一日重任シ左記ノ者康德十年四月一日取締役ニ就任ス
- 田原ナラエ 奉天市大和區紅梅町七九番地
- 秀 林 錦州省北鎮縣北鎮街雙塔區縣公署街門牌第一號
- 郎 景 惠 東京市中野區桃園町四一番地
- 一監查役秀林ハ康德十年四月一日辭任シ左記ノ者同日監查役ニ就任ス
- 李守本 錦州省中縣第三區楊保屯
- 田原信道 奉天市大和區紅梅町七九番地
- 康德十年四月十三日登記
- 北鎮區法院
- 黑山區法院

義州區法院

●株式會社滿洲丸大洋紙店拂込變更

- 一康德十年三月一日各株ニ付拂込ミタル株金額ヲ左ノ如ク變更ス
- 各株ニ付拂込ミタル株金額 國幣五拾圓
- 琢春砂金株式會社變更
- 一康德十年二月二十七日取締役高濱信男ハ辭任ス
- 滿洲石綿株式會社變更
- 一康德十年二月二十三日取締役二宮裕造ハ死亡ス
- 株式會社新京勝又商店變更
- 一康德十年二月二十五日監查役石井正夫ハ重任ス
- 株式會社設立
- 一商號 田邊產業株式會社
- 一本店 新京特別市大和通第四二號
- 一目的 一輕合金ノ電鍍加工並ニ各種金屬ノ鍍金 二樂器ノ製造販賣並ニ仲介 三蓄音機並ニ音盤ノ販賣 四前各號ニ附帶スル一切ノ業務
- 一成立ノ年月日 康德十年三月九日
- 一資本ノ總額 國幣拾五萬圓
- 一各株ノ金額 國幣五拾圓
- 一各株ニ付キ拂込ミタル株金額 國幣貳拾五圓
- 一株式讓渡ノ禁止又ハ制限ノ規定 當會社ノ株式ハ取締役會ノ承認ヲ經ルニ非ラザレバ之ヲ讓渡スルコトヲ得ズ
- 一公告ノ方法 政府公報ニ掲載ス
- 一取締役ノ住所氏名 森川 昇二 奉天市大和區青葉町第三〇號
- 古城貴代士 同市同區青葉町第二〇號
- 上原 覺 新京特別市祝町三丁目第一五號
- 赤津 賢 大連市長春街九番地
- 古城 拾三 撫順市東七條通五二
- 五十嵐 稔 撫順市東七條通四八番地
- 一會社ヲ代表スベキ取締役 森川昇二、古城貴代士、上原覺
- 一監查役ノ住所氏名 五十嵐善七 撫順市東七條通五〇番地
- 姓名 政一 奉天市大和區大和町第一五號
- 一存立時期 會社設立ノ日ヨリ滿二十箇年

帝國火災保險株式會社支店設立(外國會社)

- 一昭和十八年三月一日支店ヲ左ノ地ニ設立ス
- 支店 京城府南大門通五丁目二五番地
- 臺北市表町二丁目三番地
- 株式會社滿洲松本組變更
- 一康德十年二月二十五日株式讓渡制限ヲ左ノ如ク變更ス
- 本會社ノ株式ハ他人ヘ讓渡シ又ハ質權設定ヲナスコトヲ得ザルモノトス
- 但シ特別ノ事情生ジタル場合ニ限リ取締役會長ノ承諾ヲ經テ之ヲ認ムルコトヲアルベシ
- 一同日左記ノ者取締役ニ就任ス
- 中山久樹 牡丹江市圓明街第八號ノ六
- 一監查役井上知道ハ同日重任ス
- 一同日左記ノ者監查役ニ就任ス
- 水草武雄 京城府漢江通二丁目三三五番地
- 滿洲櫻房株式會社
- 一康德十年二月二十八日取締役佐藤兵逸、同添田新、同依田喜多男、櫻野貞夫ハ重任ス
- 一同日左記ノ者取締役ニ就任ス
- 小荒井五子男 奉天市大和區稻葉町第七號
- 一同日會社ヲ代表スベキ取締役佐藤兵逸ハ重任ス
- 株式會社阜新豐源變更
- 一康德十年二月二十五日取締役坂入政一ハ辭任シ同日左記ノ者取締役ニ就任ス
- 丸山良一 堺市西區西通四ノ三六
- 一監查役平田九郎ハ同日重任ス
- 滿洲石油株式會社變更
- 一理事小野卯太郎ハ康德十年二月二十八日死亡ス
- 合資會社設立
- 一商號 合資會社武田商會
- 一本店 新京特別市八島通第二九號ノ三
- 一目的 一雜貨及ビ食料品ノ製造並ニ販賣 二農園及ビ畜産經營 三木工藝品ノ製作並ニ販賣 四建築材料ノ販賣 五不動產ノ賣買 六其ノ他右各項ニ附帶スル一切ノ業務
- 一代表社員ノ氏名 武田盛宣
- 一無限責任社員ノ氏名住所出資ノ目的價格履行ノ部分

國幣五萬圓整 全部履行 無限 武田盛宣

- 合名會社中央電業社解散
- 一康德十年三月一日總社員ノ同意ニ因リ解散ス
- 大澤ミシン合名會社變更
- 一康德十年三月一日左ノ者左記ノ通出資シテ入社ス
- 國幣五萬圓 全部履行 大澤俊之 新京特別市西長春大街第三四號ノ一
- 大澤ミシン合名會社變更
- 一康德十年三月一日社員大澤一夫、同大澤俊夫ノ各國幣貳萬貳千五百圓ヲ出資シ各其ノ出資額ヲ左ノ通り變更ス
- 國幣貳萬五千圓 全部履行 大澤一夫 大澤俊夫
- 大澤ミシン合名會社變更
- 一康德十年三月一日代表社員大澤一夫ハ辭任シ同日左記ノ者代表社員ニ就任ス
- 代表社員 大澤俊夫
- 大澤ミシン合名會社變更
- 一康德十年三月一日社員大澤一夫、同大澤俊夫ハ其ノ住所ヲ左ノ地ニ移轉ス
- 大澤一夫 新京特別市西長春大街第三四號ノ一
- 大澤俊夫 同 所
- 合名會社大澤ミシン公司商號變更
- 一康德十年三月一日商號ヲ左ノ通り變更ス
- 商號 大澤ミシン合名會社
- 合名會社大澤ミシン公司本店移轉
- 一康德十年三月一日本店ヲ左ノ地ニ移轉ス
- 一本店 新京特別市西長春大街第三四號ノ一
- 康德十年三月十一日登記
- 新京區法院

一般廣告

第八回決算公告

(自康德拾年壹月壹日 至康德拾年六月三十日) 貨借對照表 (康德拾年六月卅日現在)

Table with columns for assets (土地、建物、器具、備品、材料、預行取、預行掛、預行拂) and liabilities (諸員預、預行掛、未受拂、未受拂、未受拂). Total assets and liabilities are both 276,622.

新東京特別市日本橋通四拾八番地

吉林製紙株式會社

第壹回決算公告

(自康德十年三月三十一日 至康德十年六月三十日) 貨借對照表 (康德十年六月三十日現在)

Table with columns for assets (仕仕、滿洲、出資、受取、有價、諸項、現銀、假借) and liabilities (諸員預、未受拂、未受拂、未受拂). Total assets and liabilities are both 88,713.

康德十年八月十日

新東京特別市日本橋通四拾八番地

株式會社 康德紙商會

第拾六期決算報告書

(自康德九年七月三十一日 至康德九年十二月三十一日) 貨借對照表 (康德九年十二月三十一日)

Table with columns for assets (建物、什車、機器、備品、工備、有價、證券、債權、預行取、預行掛、預行拂) and liabilities (哈爾濱專賣、哈爾濱專賣、哈爾濱專賣). Total assets and liabilities are both 2,076,801.

康德十年七月

哈爾濱市道裡中國十道街三四

哈爾濱石油販賣株式會社

一 般 廣 告

第八回決算公告 (自康德拾年壹月壹日 至康德拾年六月三十日)

貸借對照表 (康德拾年六月卅日現在)

土地	五,三三〇.〇〇	諸預業員預	三,六〇〇.〇〇
造地	九,九三三.〇〇	業員預	三,六〇〇.〇〇
機械	六,九七六.〇〇	預業員預	三,六〇〇.〇〇
工機	三,七三三.〇〇	預業員預	三,六〇〇.〇〇
材料	一,〇〇〇.〇〇	預業員預	三,六〇〇.〇〇
受同	一,〇〇〇.〇〇	預業員預	三,六〇〇.〇〇
銀受	一,〇〇〇.〇〇	預業員預	三,六〇〇.〇〇
諸有	一,〇〇〇.〇〇	預業員預	三,六〇〇.〇〇
現預	一,〇〇〇.〇〇	預業員預	三,六〇〇.〇〇
特價	一,〇〇〇.〇〇	預業員預	三,六〇〇.〇〇
假保	一,〇〇〇.〇〇	預業員預	三,六〇〇.〇〇
出設	一,〇〇〇.〇〇	預業員預	三,六〇〇.〇〇
合	二七,六六二.三	合	二七,六六二.三

新東京特別市日本橋通四拾八番地

吉林製紙株式會社

第壹回決算公告 (自康德十年三月三十一日 至康德十年六月三十日)

貸借對照表 (康德十年六月三十日現在)

什入	五,六九〇.〇〇	諸預業員預	三,〇〇〇.〇〇
仕紙	八,四三三.三三	業員預	三,〇〇〇.〇〇
滿洲	三,四三三.元	預業員預	三,〇〇〇.〇〇
出資	五,〇〇〇.〇〇	預業員預	三,〇〇〇.〇〇
受有	二,五〇〇.〇〇	預業員預	三,〇〇〇.〇〇
賣取	二,三〇〇.〇〇	預業員預	三,〇〇〇.〇〇
銀預	一,八〇〇.〇〇	預業員預	三,〇〇〇.〇〇
現預	一,九〇〇.〇〇	預業員預	三,〇〇〇.〇〇
商假	二,一八〇.〇〇	預業員預	三,〇〇〇.〇〇
合	四八,七二一.三	合	四八,七二一.三

康德十年八月十日

新東京特別市日本橋通四拾八番地

株式會社 康德紙商會

第拾六期決算報告書 (自康德九年七月三十一日 至康德九年十二月三十一日)

貸借對照表 (康德九年十二月三十一日)

建築	五,九四〇.〇〇	哈爾濱專賣	三,〇〇〇.〇〇
車什	三,四〇〇.〇〇	座借越	三,〇〇〇.〇〇
機備	三,〇〇〇.〇〇	前當	三,〇〇〇.〇〇
有工	六,六一八.〇〇	預業員預	三,〇〇〇.〇〇
特資	一,〇〇〇.〇〇	預業員預	三,〇〇〇.〇〇
專商	一,〇〇〇.〇〇	預業員預	三,〇〇〇.〇〇
空保	一,〇〇〇.〇〇	預業員預	三,〇〇〇.〇〇
代薪	一,〇〇〇.〇〇	預業員預	三,〇〇〇.〇〇
別生	一,〇〇〇.〇〇	預業員預	三,〇〇〇.〇〇
石炭	一,〇〇〇.〇〇	預業員預	三,〇〇〇.〇〇
木炭	一,〇〇〇.〇〇	預業員預	三,〇〇〇.〇〇
容品	一,〇〇〇.〇〇	預業員預	三,〇〇〇.〇〇
專商	一,〇〇〇.〇〇	預業員預	三,〇〇〇.〇〇
代商	一,〇〇〇.〇〇	預業員預	三,〇〇〇.〇〇
未預	一,〇〇〇.〇〇	預業員預	三,〇〇〇.〇〇
諸預	一,〇〇〇.〇〇	預業員預	三,〇〇〇.〇〇
現預	一,〇〇〇.〇〇	預業員預	三,〇〇〇.〇〇
立預	一,〇〇〇.〇〇	預業員預	三,〇〇〇.〇〇
貸預	一,〇〇〇.〇〇	預業員預	三,〇〇〇.〇〇
假預	一,〇〇〇.〇〇	預業員預	三,〇〇〇.〇〇
未預	一,〇〇〇.〇〇	預業員預	三,〇〇〇.〇〇
預經	一,〇〇〇.〇〇	預業員預	三,〇〇〇.〇〇
本預	一,〇〇〇.〇〇	預業員預	三,〇〇〇.〇〇
當期	一,〇〇〇.〇〇	預業員預	三,〇〇〇.〇〇
合	二〇,〇〇〇.〇〇	合	二〇,〇〇〇.〇〇

右ノ通ニ候也

康德十年七月

哈爾濱市道裡中國十道街三四

哈爾濱石油販賣株式會社

第拾五期決算報告書 (自康德九年七月三十一日 至康德九年十二月三十一日現在)

貸借對照表 (康德九年十二月三十一日現在)

Table with columns for Assets (資産ノ部), Liabilities (負債ノ部), and Total (合計). Rows include items like 未建ス物, 拂込資本, 燃薪, 薪薪, etc.

利益金處分

Table showing profit distribution (利益金處分) with columns for Current Period (本期), Previous Period (前期), and Total (合計). Rows include 未建ス物, 拂込資本, 燃薪, etc.

第拾五期決算報告書 (自康德九年七月三十一日 至康德九年十二月三十一日現在)

貸借對照表 (康德九年十二月三十一日現在)

Table with columns for Assets (資産ノ部), Liabilities (負債ノ部), and Total (合計). Rows include 土地, 建物, 機械, 器具, etc.

利益金處分

Table showing profit distribution (利益金處分) with columns for Current Period (当期), Previous Period (前期), and Total (合計). Rows include 土地, 建物, 機械, etc.

營口市綏定區大同街貳號 營口石油販賣株式會社

安東市金湯區興隆街三四 安東石油販賣株式會社

Vertical text on the left side containing company details, addresses, and contact information for both companies.

第拾五期決算報告書 (自康德九年七月三十一日 至康德九年十二月三十一日現在)

貸借對照表		金額
未建	拂込資本	六〇,〇〇〇.〇〇
什工	タ	一〇,〇〇〇.〇〇
專	燃薪商	三,〇〇〇.〇〇
代	燃薪製	一,〇〇〇.〇〇
代	炭品	二,〇〇〇.〇〇
諸	器	一,〇〇〇.〇〇
現	金	一,〇〇〇.〇〇
實	金	一,〇〇〇.〇〇
投	金	一,〇〇〇.〇〇
有	金	一,〇〇〇.〇〇
保	金	一,〇〇〇.〇〇
特	金	一,〇〇〇.〇〇
假	金	一,〇〇〇.〇〇
保	金	一,〇〇〇.〇〇
有	金	一,〇〇〇.〇〇
別	金	一,〇〇〇.〇〇
價	金	一,〇〇〇.〇〇
保	金	一,〇〇〇.〇〇
有	金	一,〇〇〇.〇〇
證	金	一,〇〇〇.〇〇
國	金	一,〇〇〇.〇〇
未	金	一,〇〇〇.〇〇
未	金	一,〇〇〇.〇〇
酒	金	一,〇〇〇.〇〇
頂	金	一,〇〇〇.〇〇
假	金	一,〇〇〇.〇〇
保	金	一,〇〇〇.〇〇
有	金	一,〇〇〇.〇〇
證	金	一,〇〇〇.〇〇
國	金	一,〇〇〇.〇〇
未	金	一,〇〇〇.〇〇
未	金	一,〇〇〇.〇〇
收	金	一,〇〇〇.〇〇
入	金	一,〇〇〇.〇〇
過	金	一,〇〇〇.〇〇
勘	金	一,〇〇〇.〇〇
計	金	四九五,五六〇.六

利益金處分

前	本期	利益	金額
合	期	越	二八,四七六.六七
之ヲ處分スルコト左記ノ如シ	期	金	七,九九九.〇八
法	定	積	三六,四七五.七五
債	保	有	一,五〇〇.〇〇
從	業	員	四,三〇〇.〇〇
納	稅	引	三,〇〇〇.〇〇
株	主	配	七,〇〇〇.〇〇
後	役	員	五,六〇〇.〇〇
合	計	金	二,八〇〇.〇〇
右ノ通ニ候也			二,二七五.七五
康德十年七月			三六,四七五.七五

第拾五期決算報告書 (自康德九年七月三十一日 至康德九年十二月三十一日現在)

貸借對照表		金額
未建	拂込資本	九〇,〇〇〇.〇〇
什工	タ	一〇,〇〇〇.〇〇
專	燃薪商	三,〇〇〇.〇〇
代	燃薪製	一,〇〇〇.〇〇
諸	炭品	二,〇〇〇.〇〇
現	器	一,〇〇〇.〇〇
實	金	一,〇〇〇.〇〇
投	金	一,〇〇〇.〇〇
有	金	一,〇〇〇.〇〇
保	金	一,〇〇〇.〇〇
特	金	一,〇〇〇.〇〇
假	金	一,〇〇〇.〇〇
保	金	一,〇〇〇.〇〇
有	金	一,〇〇〇.〇〇
證	金	一,〇〇〇.〇〇
國	金	一,〇〇〇.〇〇
未	金	一,〇〇〇.〇〇
未	金	一,〇〇〇.〇〇
酒	金	一,〇〇〇.〇〇
頂	金	一,〇〇〇.〇〇
假	金	一,〇〇〇.〇〇
保	金	一,〇〇〇.〇〇
有	金	一,〇〇〇.〇〇
證	金	一,〇〇〇.〇〇
國	金	一,〇〇〇.〇〇
未	金	一,〇〇〇.〇〇
未	金	一,〇〇〇.〇〇
收	金	一,〇〇〇.〇〇
入	金	一,〇〇〇.〇〇
過	金	一,〇〇〇.〇〇
勘	金	一,〇〇〇.〇〇
計	金	五三三,六八八.一

利益金處分

前	本期	利益	金額
合	期	越	二二,六一六.九二
之ヲ處分スルコト左ノ如シ	期	金	一四,三三二.五三
法	定	積	三七,九三九.四五
債	保	有	一〇,〇〇〇.〇〇
從	業	員	四,〇〇〇.〇〇
納	稅	引	二,〇〇〇.〇〇
株	主	配	二,〇〇〇.〇〇
後	役	員	二,〇〇〇.〇〇
合	計	金	二,〇〇〇.〇〇
右ノ通ニ候也			二,九三九.四五
康德十年七月			三七,九三九.四五

營口石油販賣株式會社

安東石油販賣株式會社

大同二年七月六日第三種郵便物認可
 昭和八年三月十六日第三種郵便物認可

價目 定一 一角八分 (依外國郵) 發行所 國
 廣告知費 最終頁 八角 四半 各郵局在內 印刷所 印
 電話 一九六三 廠代售

務院 總務 國務 政府公報 新報 日新 報
 電話 一九六三 廠代售

安東市金湯區興隆街三四
 安東市金湯區興隆街三四
 電話 一九六三 廠代售